

4.2.2 使用環境設定

ここでは、FAX 受発注機能のインストール後に実施する各種設定について説明します。

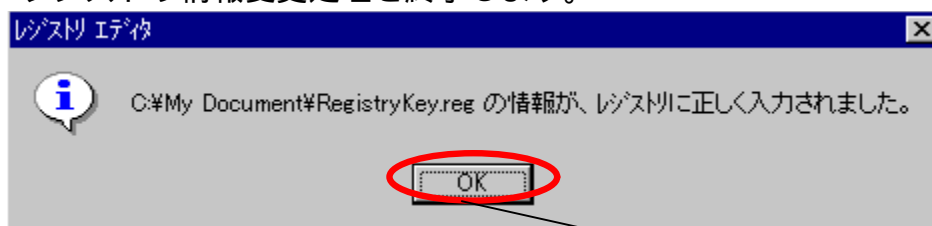
また、リソースファイル（XSL ファイルや EXCEL 帳票テンプレートファイル等）が変更された場合に、ファイルを登録する方法についても説明します。

- ・プログラム環境設定 (1)参照
レジストリ情報変更
モデム情報設定
リソースファイルの登録/クライアント認証キーの登録
帳票テンプレートの確認

- ・ベースソフトウェア環境設定 (2)参照
まいと～く FAX2001 の環境設定
テレフォニー機能の環境設定
OCR 機能の環境設定
Microsoft Internet Information Server の環境設定
FAX サーバ管理者用ユーザを追加/アクセス権の設定

(A) レジストリ情報を変更します。

- (a) FAX 受発注機能をインストールしたフォルダ内の ManipulateRegistry.exe を、ハードディスク上の任意の場所へコピーします。
- (b) コピーした ManipulateRegistry.exe をダブルクリックしてレジストリ情報を変更します。
- (c) レジストリ情報変更処理を終了します。



[OK]ボタンをクリックします。

- (d) ManipulateRegistry.exe をコピーした先に、以下のファイルが生成されます。処理後は、このファイルを削除してください。
 - ・ RegistryKey.reg

(B) モデム情報を設定します。

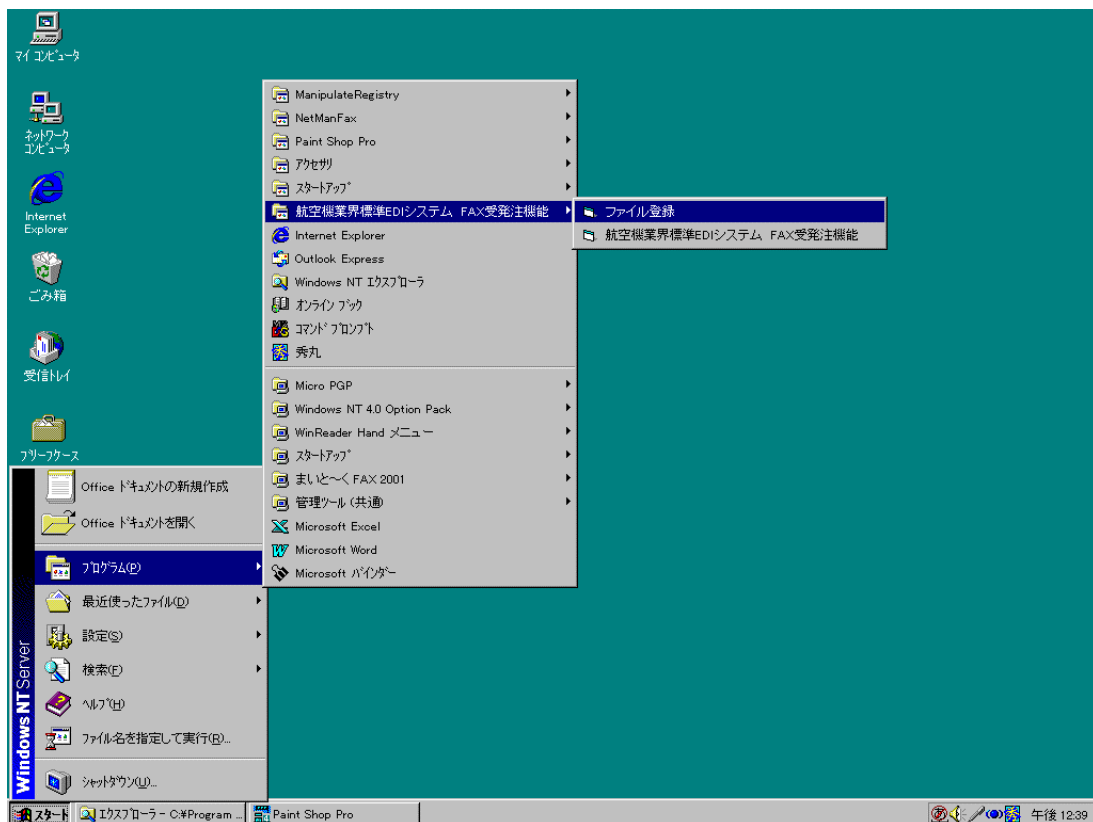
FAX サーバに設置した各モデムの用途を設定します。

- (a) FAX サーバ情報管理画面を表示します。
- (b) 以下の情報を設置した各モデム毎に設定します。
 - ・ モデムを接続したポート番号
 - ・ モデムの初期化文字列
 - ・ ダイヤル方法 (トーン or パルス)
 - ・ 用途 (送信用/受信用)

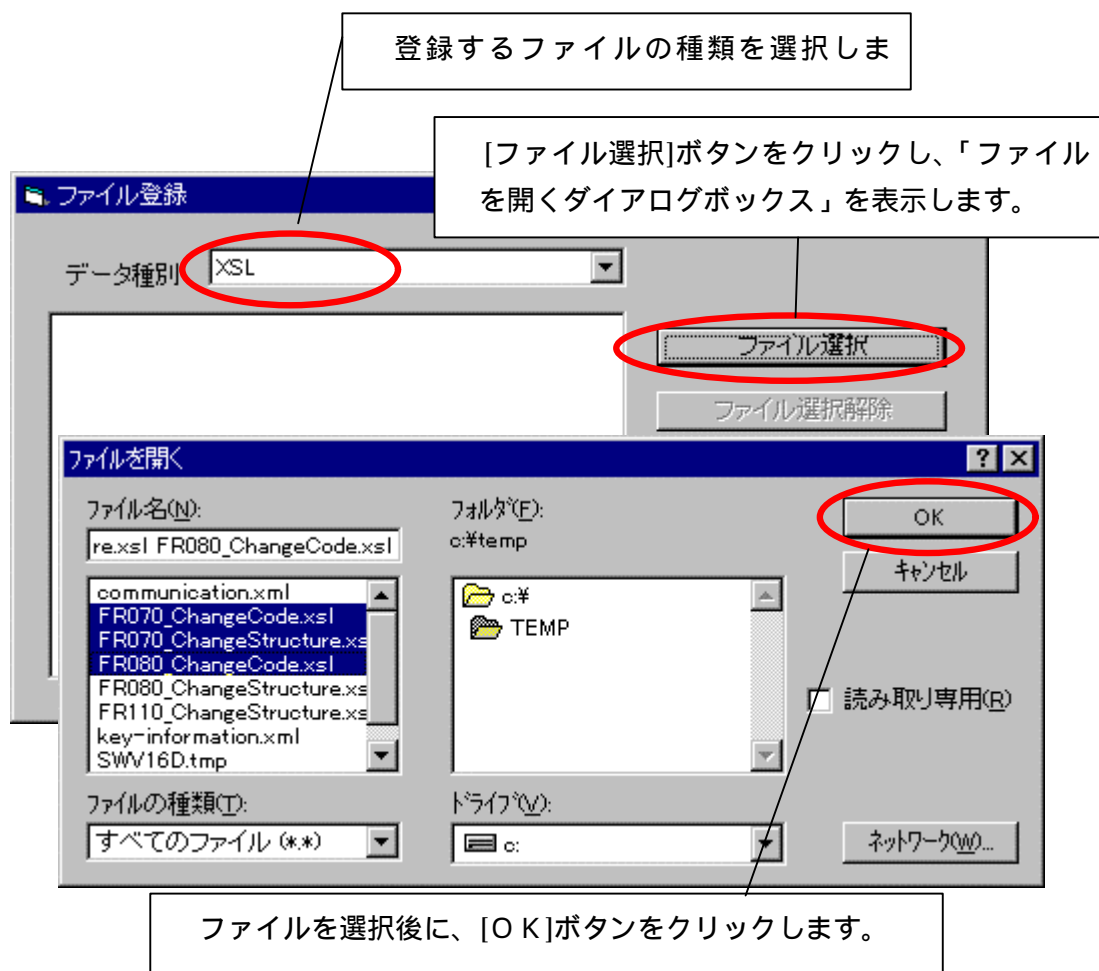
FAX サーバ情報管理画面での設定方法は、「3 . 5 . 5 FAX サーバ情報管理手順」を参照してください。

(C) FAX サーバ内のリソースを更新します。

(a) 「スタート」メニューより、「プログラム」 「航空機業界標準 EDI システム FAX 受発注機能」 「ファイル登録」を実行して、「ファイル登録画面」を起動します。



(b) データ種別を選択し、登録するファイルをダイアログから選択します。

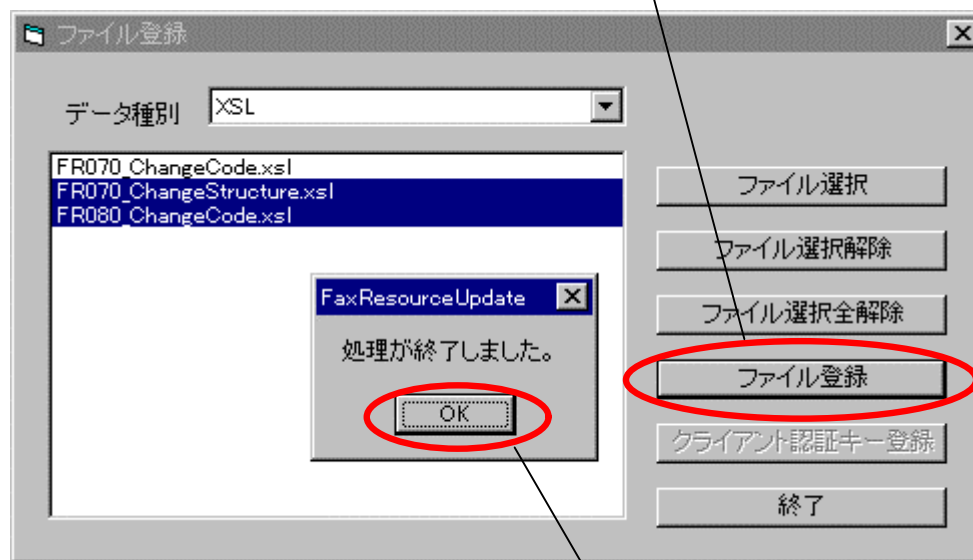


<補足>

「ファイル選択ダイアログ」では複数ファイルを選択することができます。

(c) 一覧から選択したファイルを登録します。

一覧に表示されているファイルから登録するファイルを選択し(複数選択可)、[ファイル登録]ボタンをクリックします。



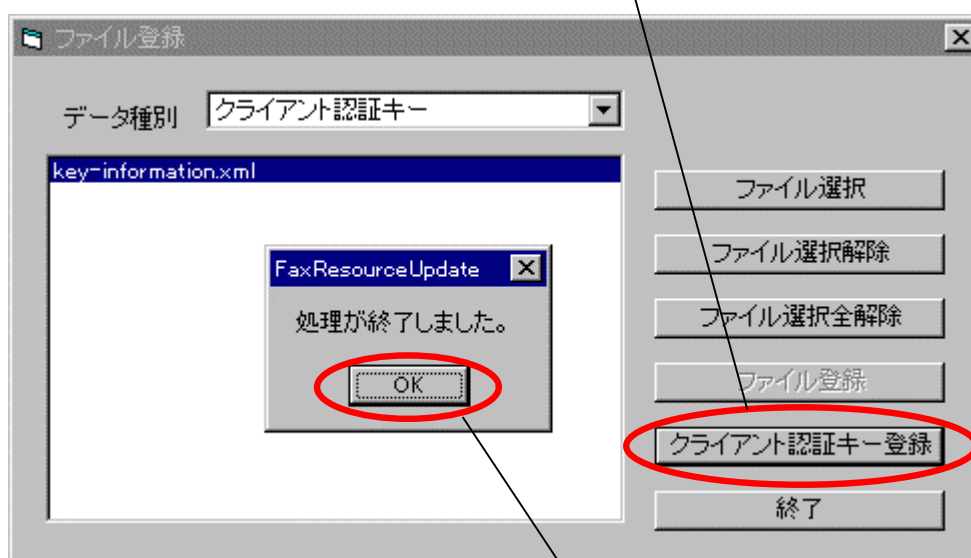
[OK]ボタンをクリックします。

<補足>

ファイルの登録先に同名のファイルが存在する場合は、上書き登録となります。

- (d) データ種別にクライアント認証キーを選択した場合は、「ファイル選択ダイアログ」にて認証キーファイルを選択し、[クライアント認証キー登録] ボタンをクリックします。

一覧に表示されているファイルから登録するファイルを選択し、[クライアント認証キー登録]ボタンをクリックします。



[OK]ボタンをクリックします。

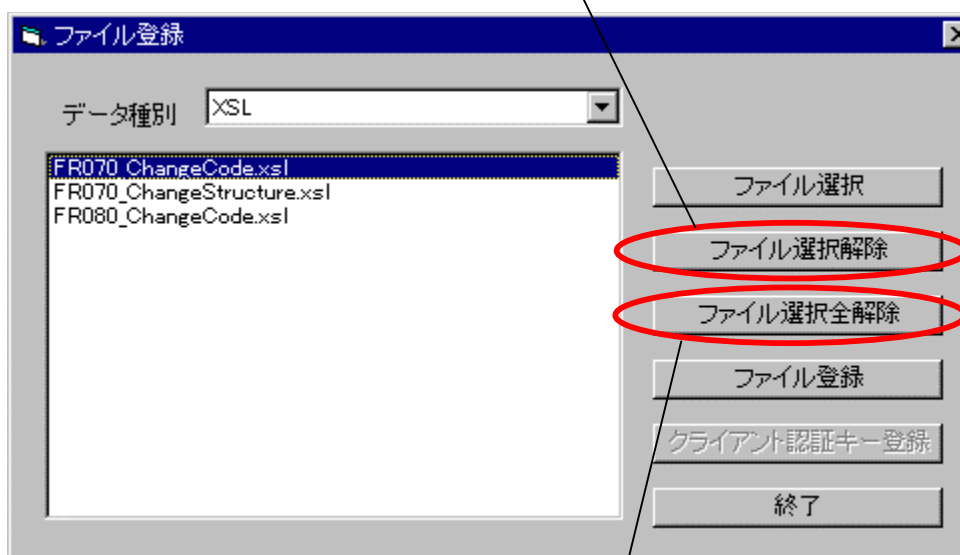
<補足>

クライアント認証キー以外のファイルを指定した場合は以下のメッセージが表示され、ファイルを登録することはできません。



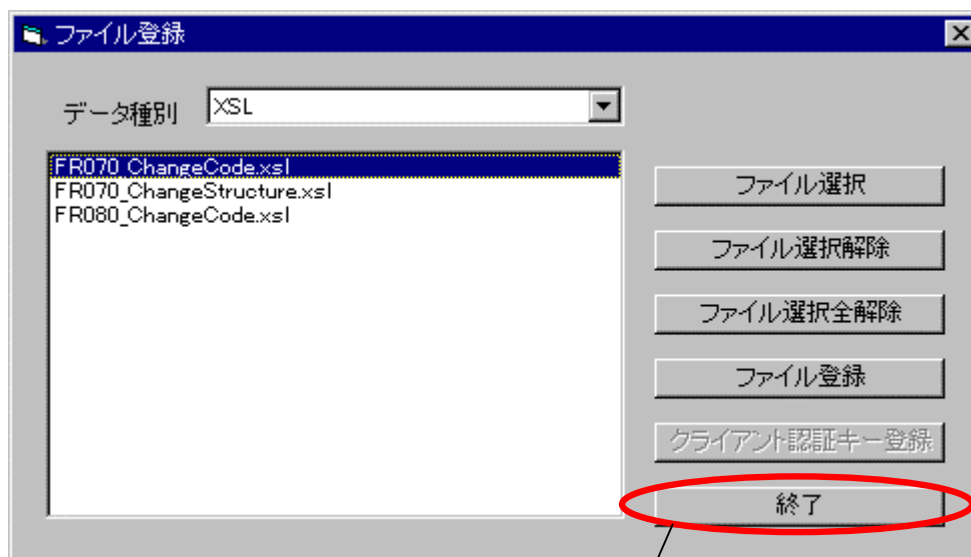
(e) 一覧のファイルを削除します。

一覧で選択されている（複数選択可）ファイルを削除します。



一覧で表示されているファイルをすべて削除します。

(f) 「ファイル登録画面」を終了します。

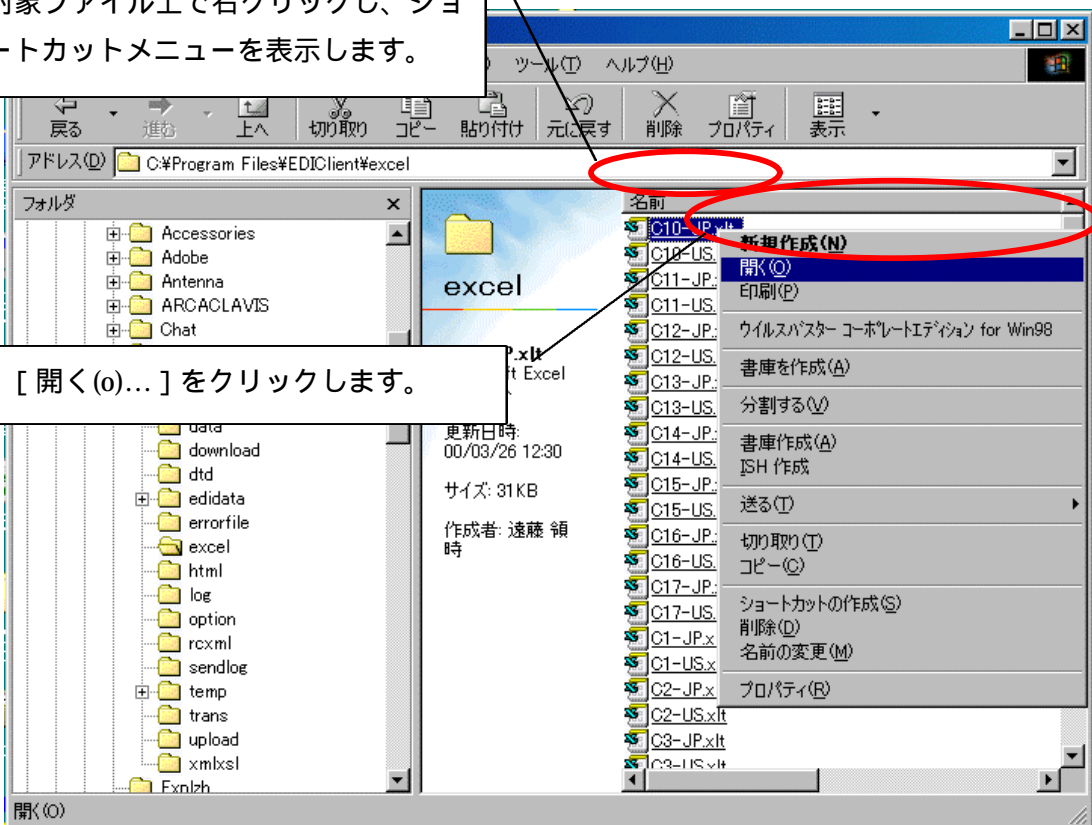


[終了]ボタンをクリックします。

(D) 帳票テンプレートの確認をします。

(a) エクスプローラから帳票テンプレートファイルを開きます。

対象ファイル上で右クリックし、ショートカットメニューを表示します。



<補足説明>

帳票テンプレートファイルは以下のフォルダに格納されています。

\$ インストールフォルダ¥program¥report

\$インストールフォルダは、FAX 受発注機能プログラムをインストールしたフォルダを示します。

通常は、 c:\Program Files¥FFaxMainWin です。

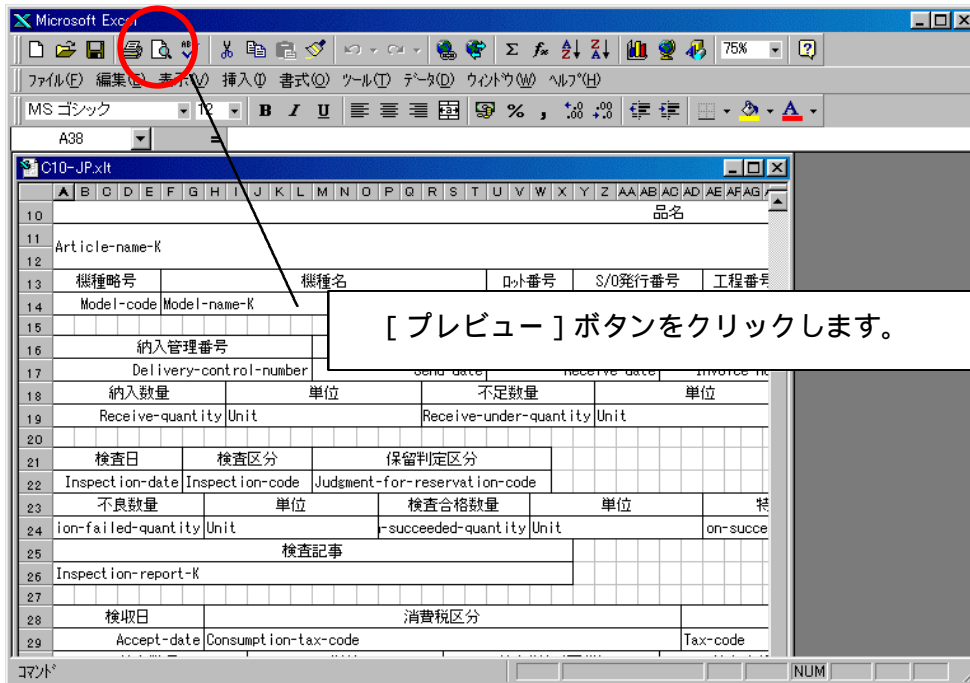
<補足説明>

帳票テンプレートファイル名と帳票名の対応一覧を以下に示します。

帳票テンプレートファイルのレイアウト確認は、各テンプレートファイルについて実施します。

日本語		
ファイル名	帳票名	ページ数
F1-JP.xlt	見積依頼書	1
F3-JP.xls	見積書	1
F4-JP.xlt	見積書受信確認	1
F5-JP.xlt	見積未回答一覧	1
F6-JP.xlt	注文書	1
F7-JP.xlt	注文残高一覧	1
F8-JP.xlt	納期確認書	1
F9-JP.xls	納期回答書	1
F10-JP.xlt	納期回答書受信確認	1
F11-JP.xlt	納期未回答一覧	1
F12-JP.xlt	買掛金計上通知一覧	1
F13-JP.xlt	FAX送信履歴一覧	1
F14-JP.xlt	FAX回答再送信依頼	1
F15-JP.xlt	未処理一覧	1
F16-JP.xlt	テスト用帳票	1

(b) プレビューを表示します。

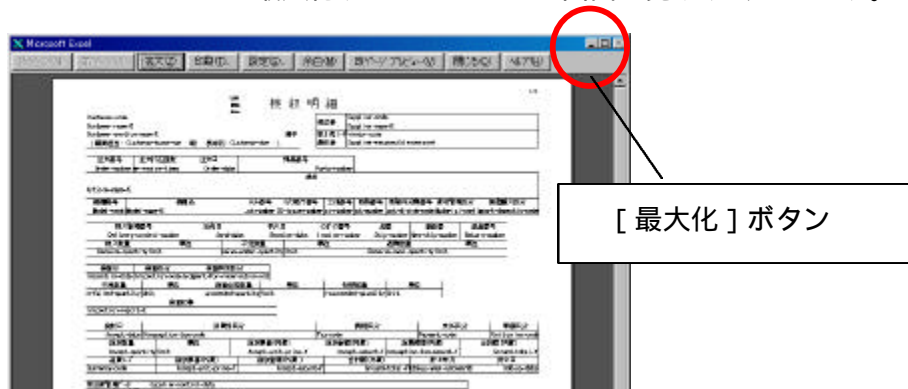


< 補足説明 >

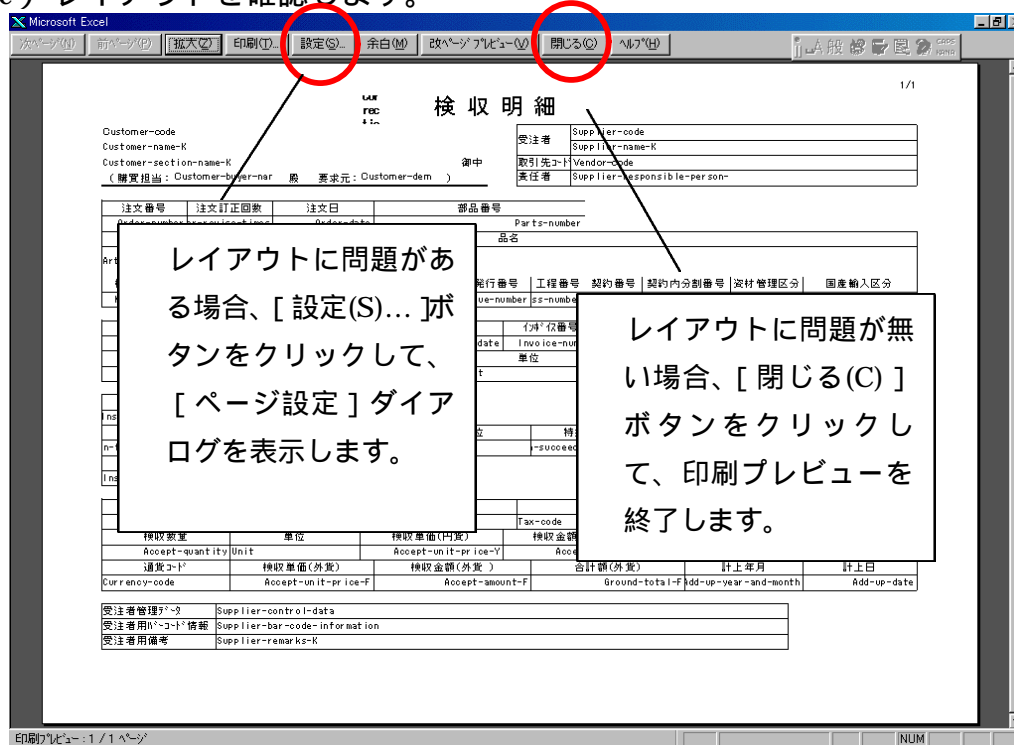
[ファイル(F)] - [印刷プレビュー(V)]でもプレビューを表示できます。

< 補足説明 >

Excel ウィンドウが最大化されていない場合、[最大化]ボタンをクリックして Excel ウィンドウを最大化するとプレビュー画面が見やすくなります。



(c) レイアウトを確認します。

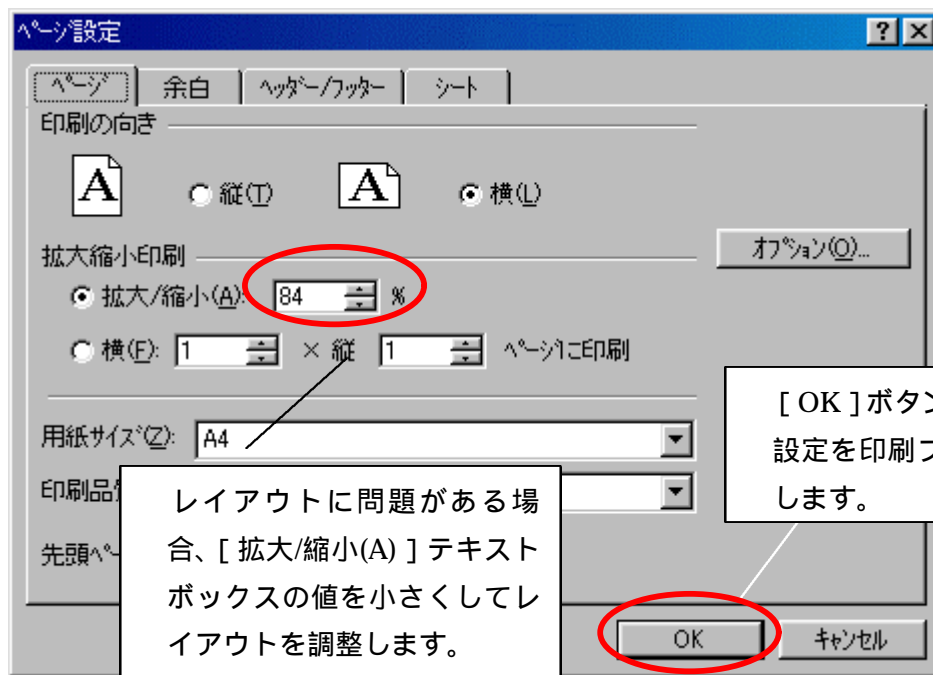


< 補足説明 >

ここで、「レイアウトに問題がある」とは、本来 1 ページに表示されなければならない帳票が各プリンタに依存して変化する印刷可能エリアの影響で 2 ページに渡り表示されてしまうことを言います。

それぞれの帳票テンプレートが本来、何ページで表示されるべきかは、(a) の補足を参照してください。

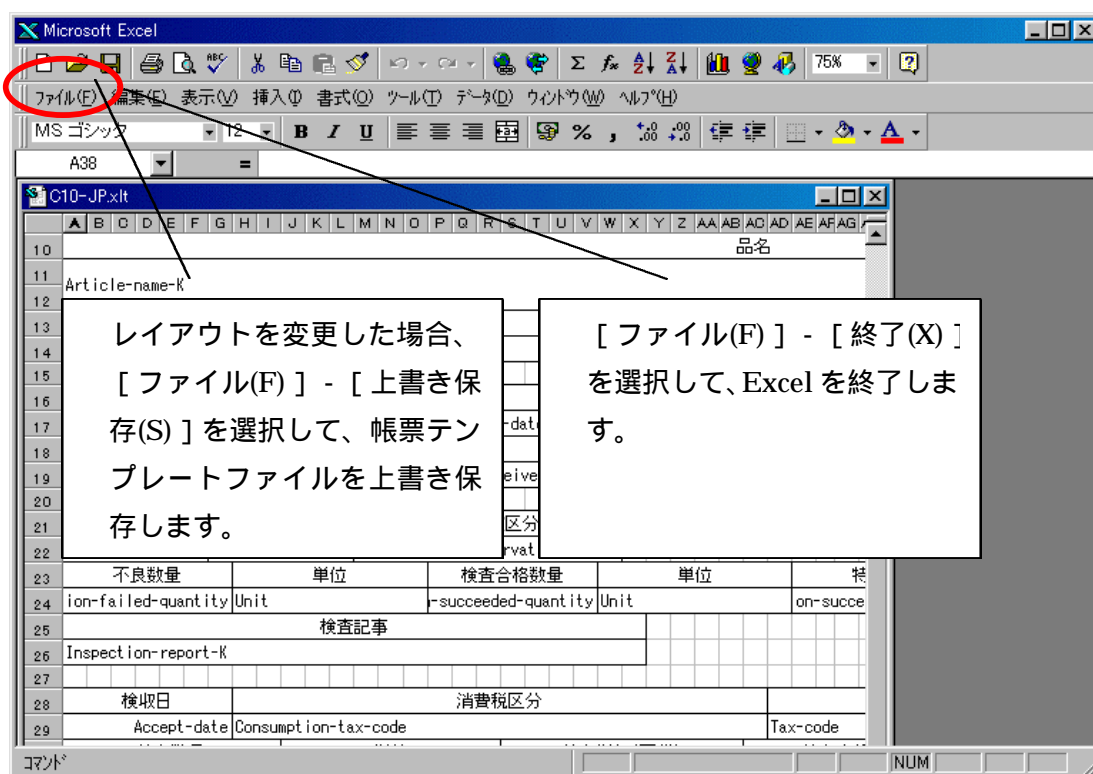
(d) 必要に応じて拡大縮小率を変更します。



<補足説明>

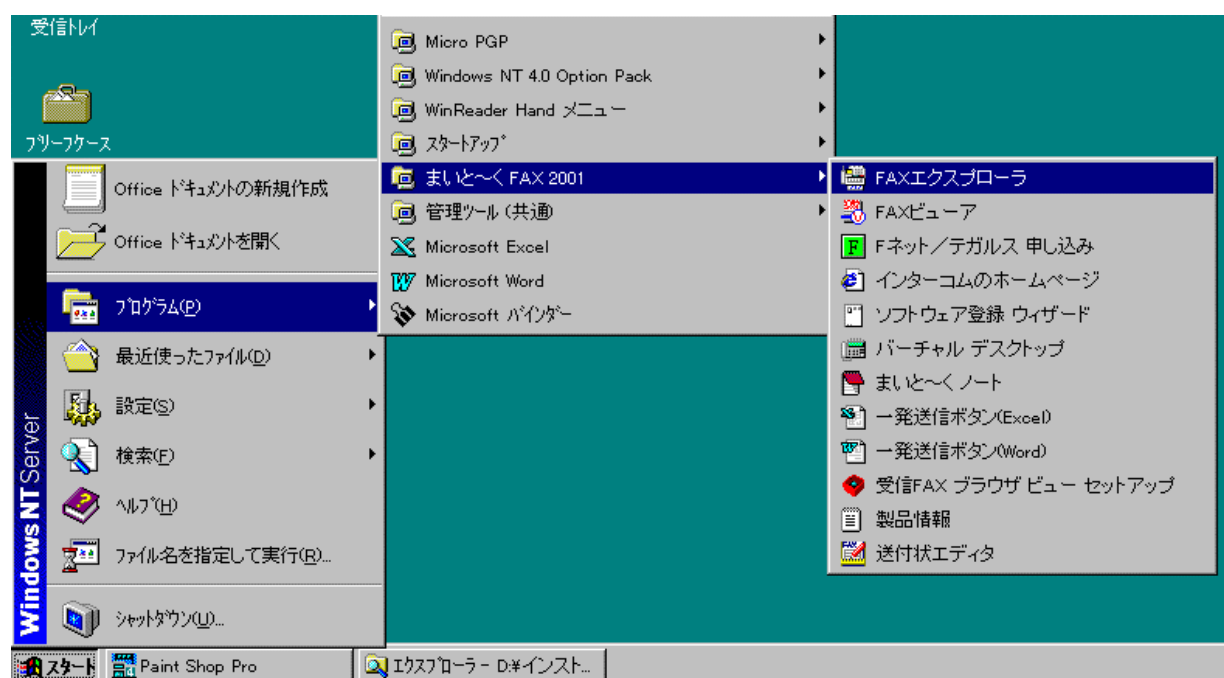
レイアウトの調整が完了したら、印刷プレビューを終了します。
詳細は(c)を参照してください。

(e) Excel を終了します。

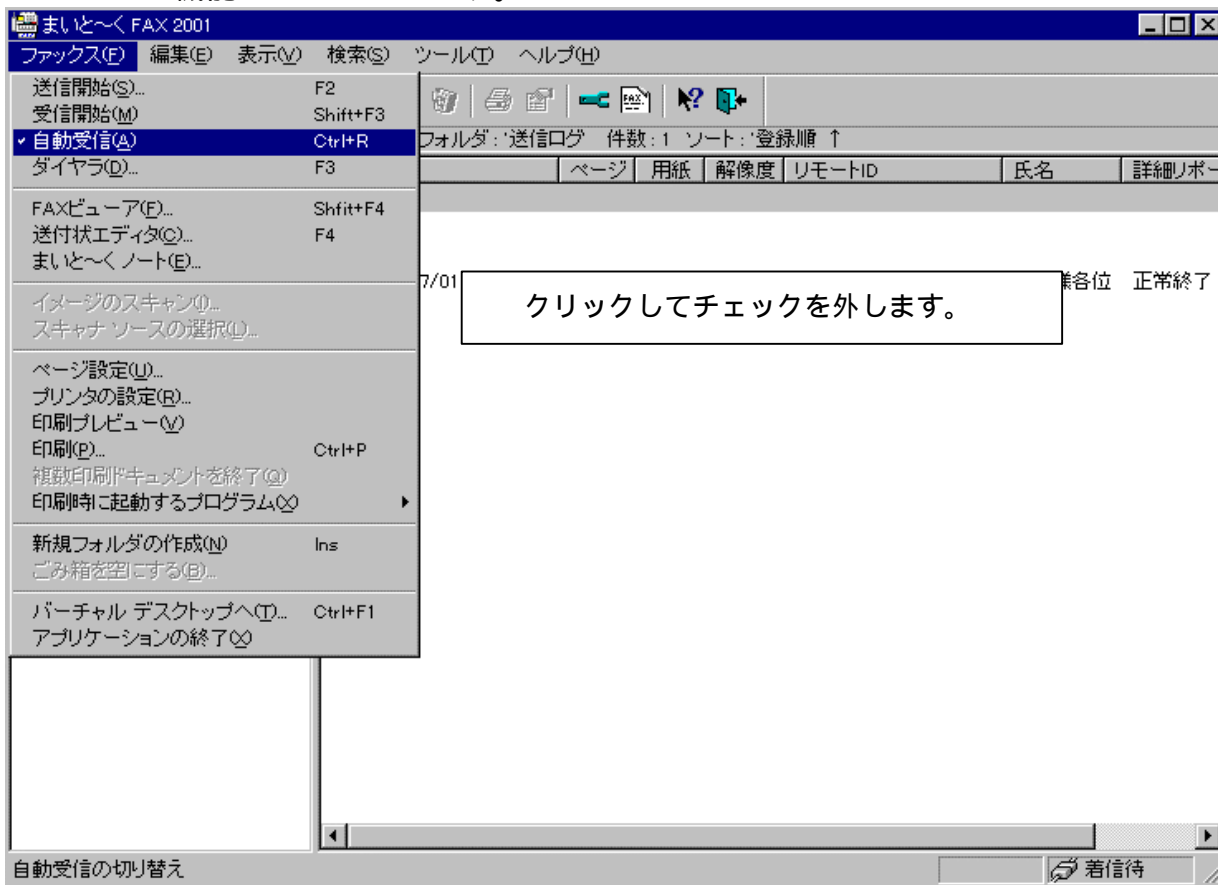


(A) まいと〜く FAX2001 の環境を設定します。

(a) 「スタート」メニューより、「プログラム」「まいと〜く FAX2001」「FAX エクスプローラ」を実行して、FAX エクスプローラを起動します。



(b) メニューより、「ファックス(F)」 「自動受信(A)」を選択して、自動受信機能をOFFにします。



<補足>

自動受信機能 ON チェックあり

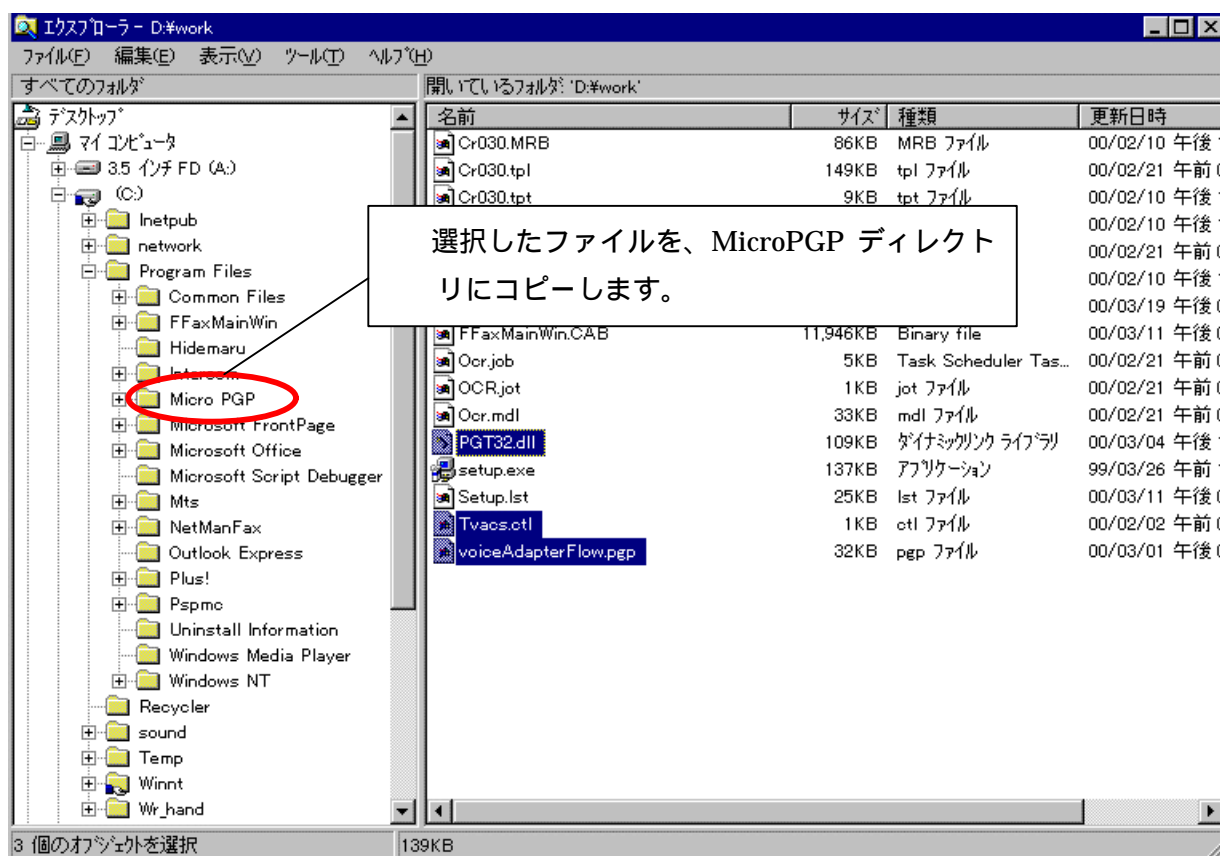
自動受信機能 OFF：チェックなし

となります。メニューの自動受信項目が「チェックなし」となるように設定してください。

(B) テレフォニー機能の環境を設定します。

(a) 配布された媒体内の以下のファイルを、株式会社 MIT システム研究所 VoiceAdapter をインストールしたディレクトリにコピーします。

PGT32.dll
Tvacs.ctl
voiceAdapterFlow.pgp



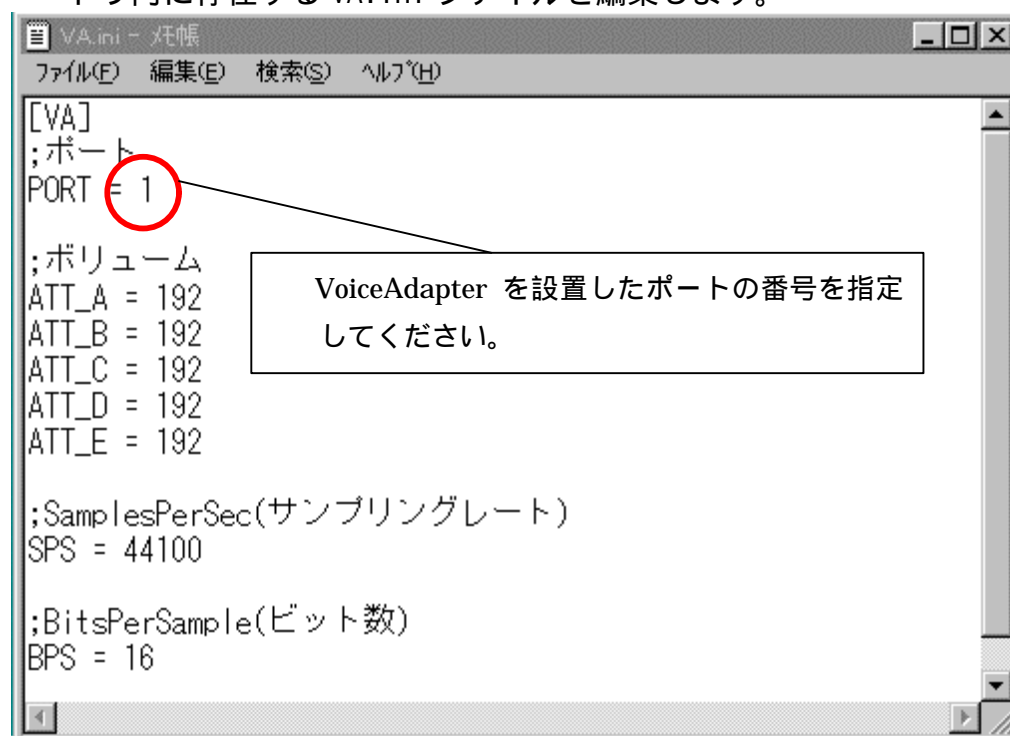
<補足>

ファイルは全て上書きコピーしてください。

<補足>

コピー先のディレクトリ内に、PGWIN32.exe が存在する事を確認してください。

- (b) 株式会社 MIT システム研究所 VoiceAdapter をインストールしたディレクトリ内に存在する VA.ini ファイルを編集します。



<補足>

編集は、メモ帳等のエディタで編集してください。

編集後は保存してください。

(c) 株式会社 MIT システム研究所 VoiceAdapter をインストールしたディレクトリ内に存在する Tvacs.cti ファイルを編集します。

```
box_cti = 1, C:\Program files\Micro PGP\voiceAdapter\flow.PGP
first_box = 1,1001

index_def = 00000000,00002000,00000000,C:\Program Files\FaxMainWin\telephony\guidance\, ,WAV,f
autostart = on
```

ガイダンスフローファイル (VoiceAdapter flow.PGP) が存在するディレクトリを指定します。

ガイダンスフローファイル (VoiceAdapter flow.PGP) は株式会社 MIT システム研究所 VoiceAdapter をインストールしたディレクトリ内に存在します。

音声ガイダンスファイル (* .wav) が存在するディレクトリを指定します。

音声ガイダンスファイル (* .wav) は、FAX 受発注機能をインストールしたディレクトリの下に telephony\guidance 内に存在します。

<補足>

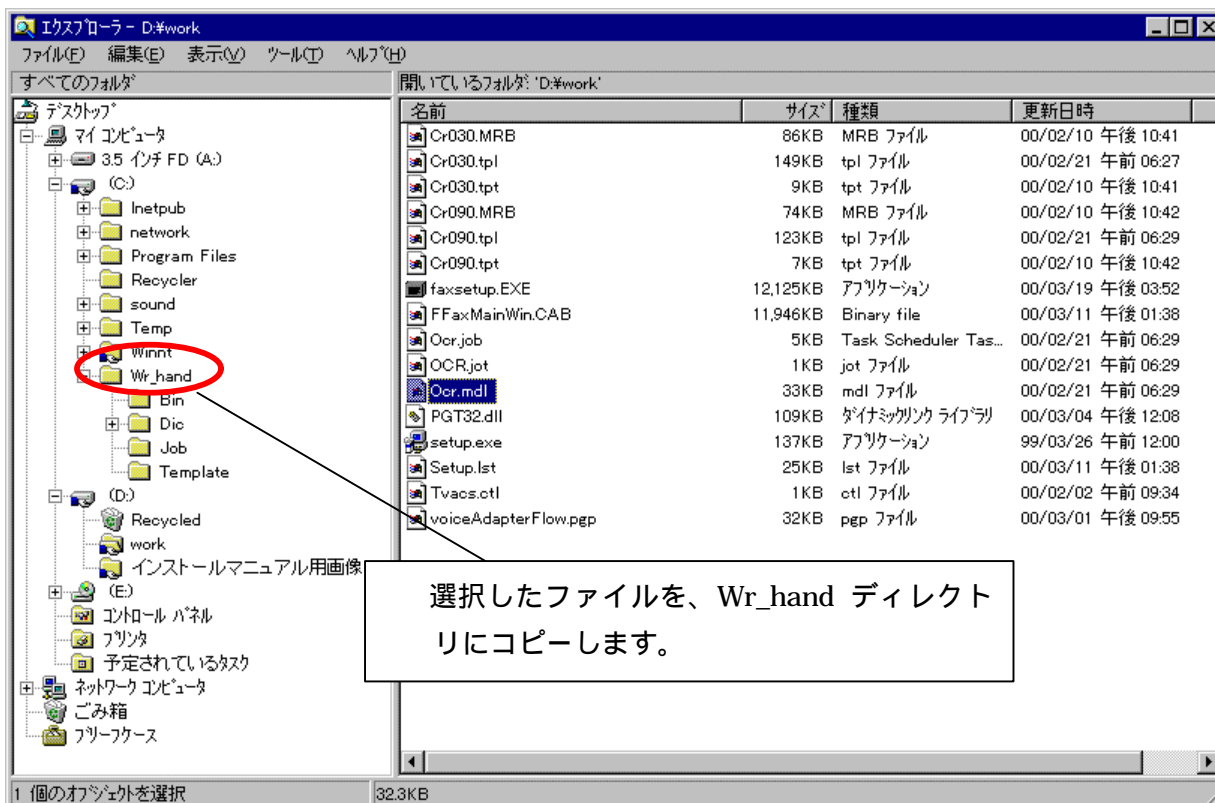
編集は、メモ帳等のエディタで編集してください。

編集後は保存してください。

(C) OCR 機能の環境を設定します。

(a) 配布された媒体内の以下のファイルを、メディアドライブ株式会社 WinReaderHand V3.5 をインストールしたディレクトリにコピーします。

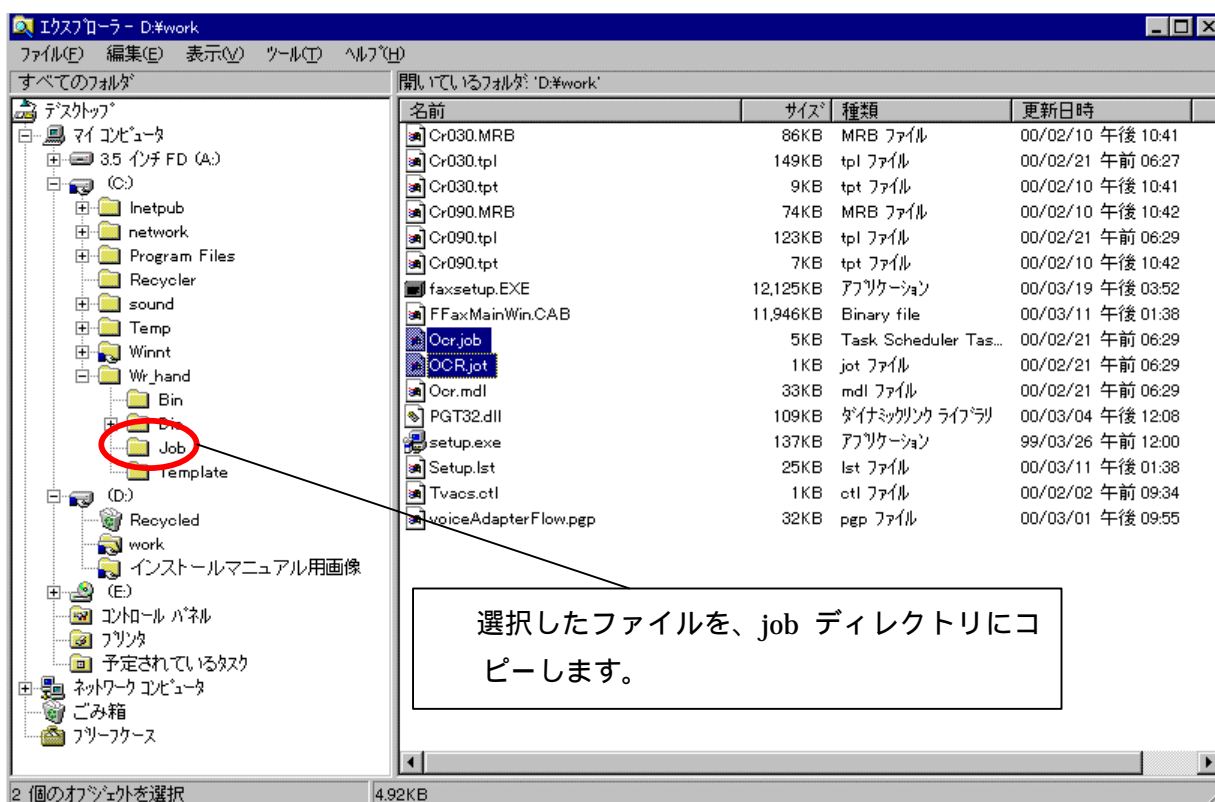
Ocr.mdl



(b) 配布された媒体内の以下のファイルを、メディアドライブ株式会社 WinReaderHand V3.5をインストールしたディレクトリの下の job ディレクトリにコピーします。

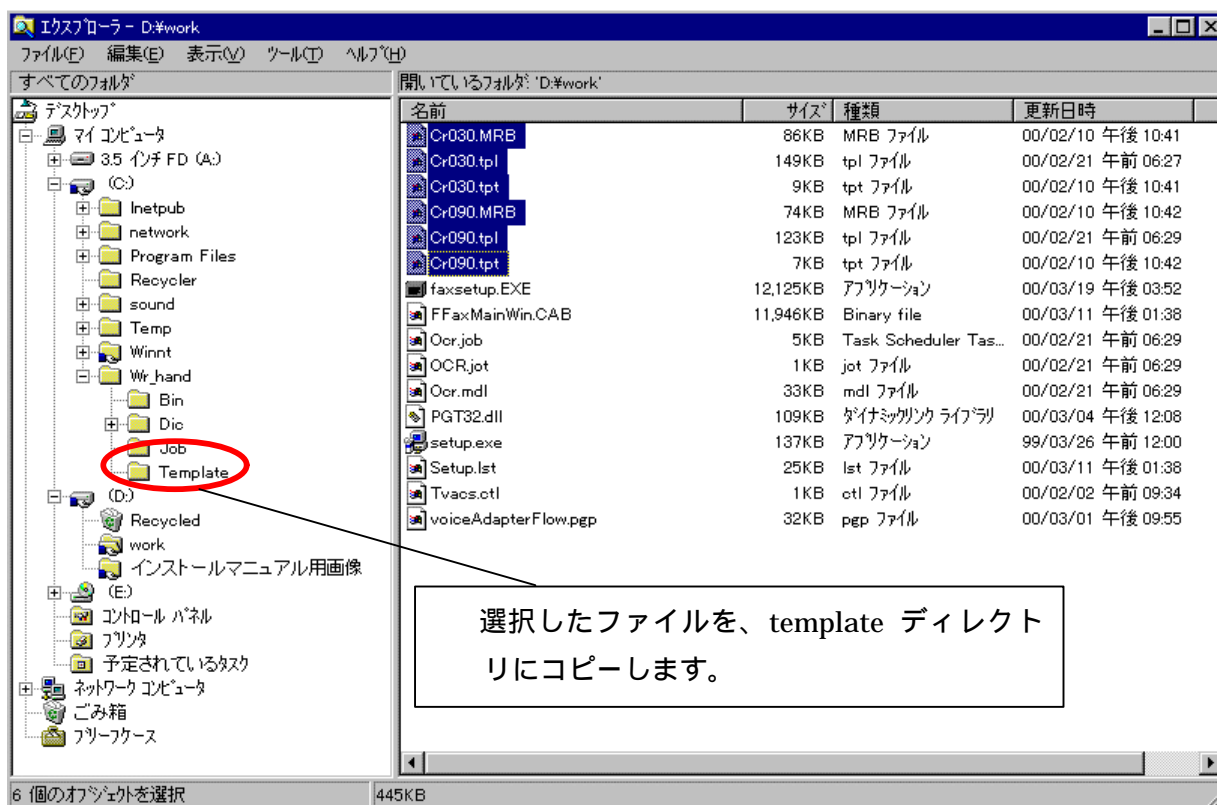
Ocr.job

Ocr.jot



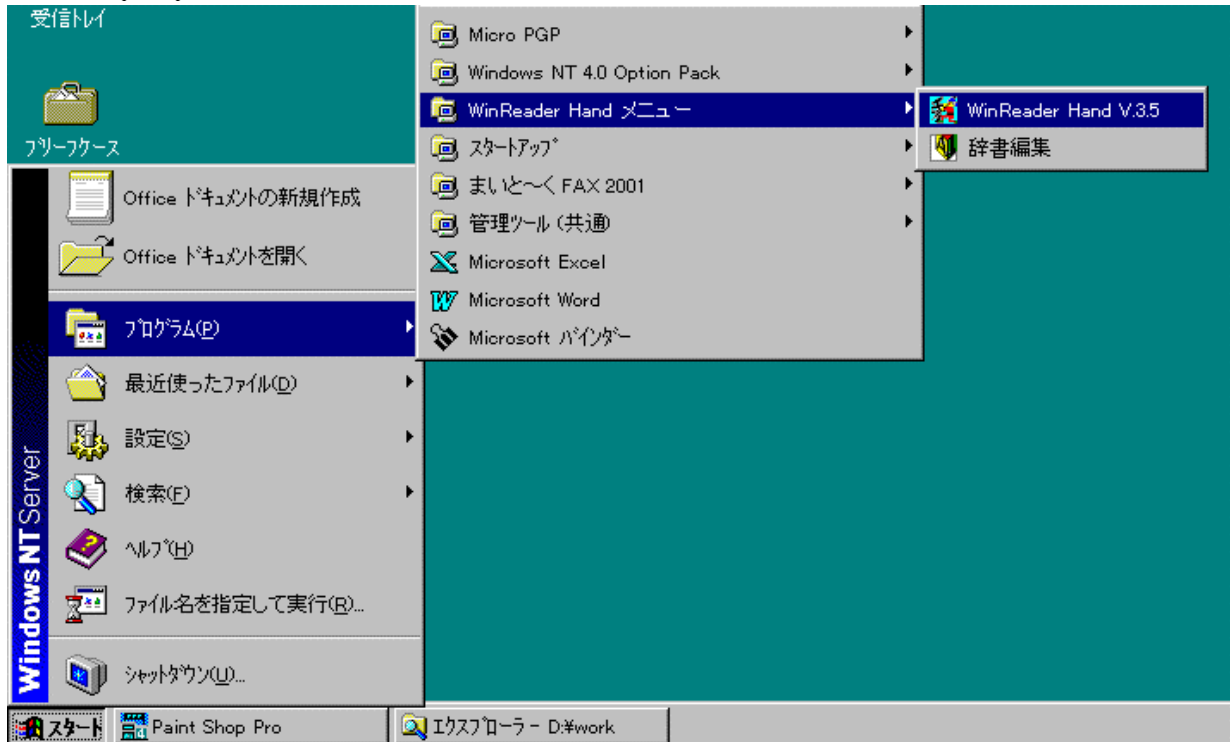
(c) 配布された媒体内の以下のファイルを、メディアドライブ株式会社 WinReaderHand V3.5 をインストールしたディレクトリの下での template ディレクトリにコピーします。

Cr030.mrb
Cr030.tpl
Cr030.tpt
Cr090.mrb
Cr090.tpl
Cr090.tpt

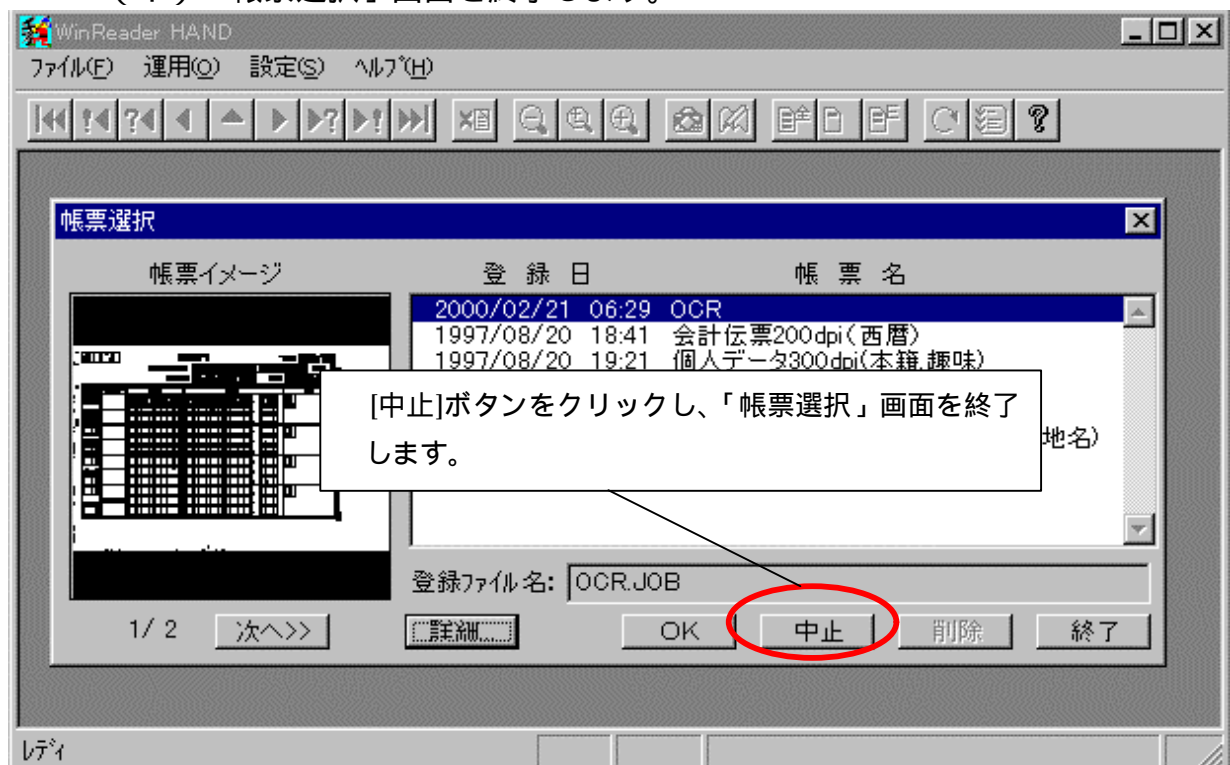


(d) メディアドライブ株式会社 WinReaderHand V3.5 の動作環境を設定します。

(ア) メディアドライブ株式会社 WinReaderHand V3.5 を起動します。



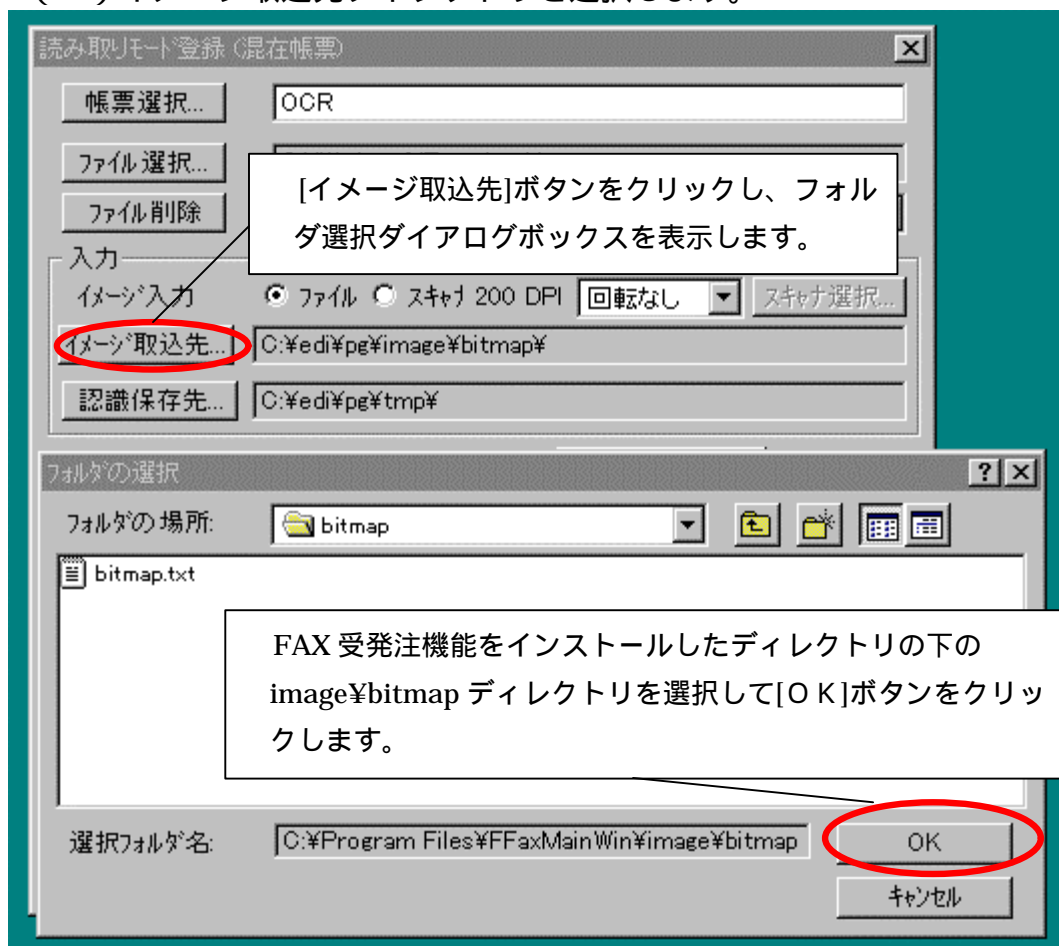
(イ) 「帳票選択」画面を終了します。



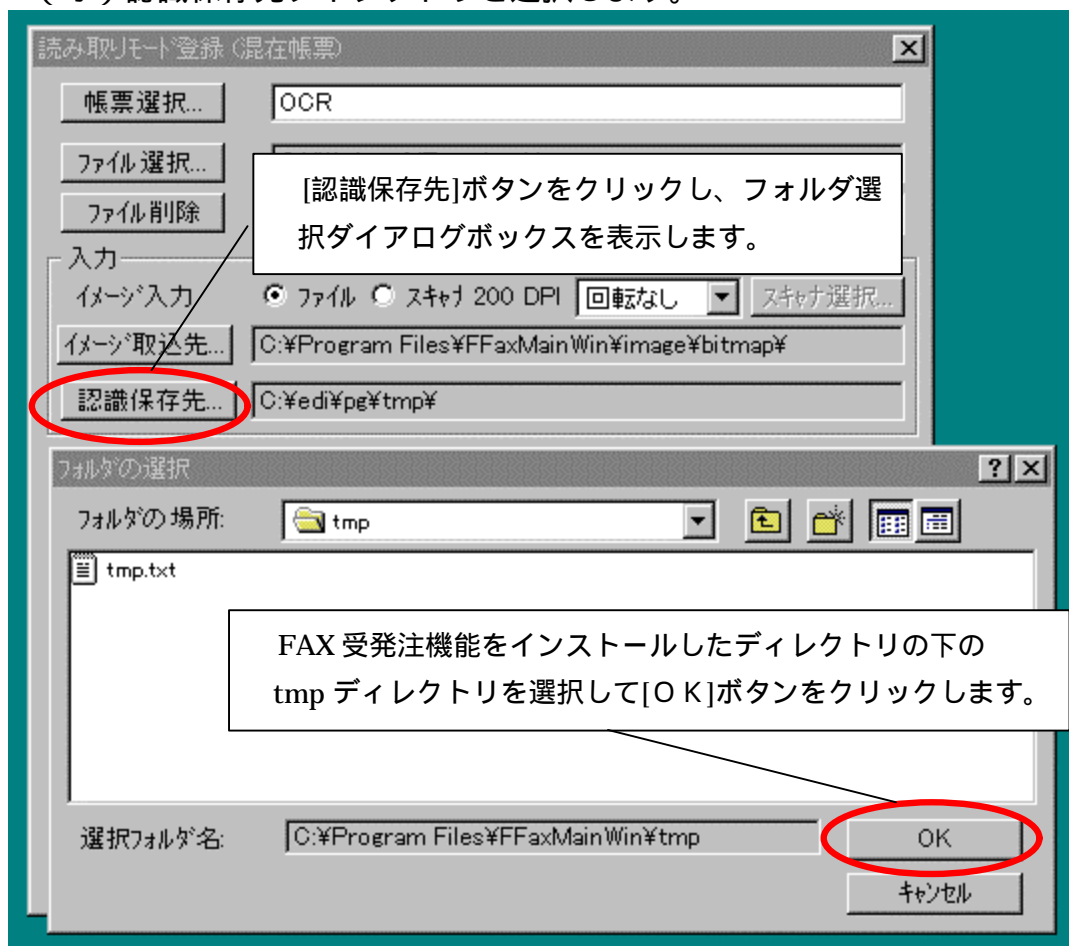
(ウ)メニューより、「設定」「読取モード」を実行して、「読み取りモード登録」画面を表示します。



(エ) イメージ取込先ディレクトリを選択します。



(オ) 認識保存先ディレクトリを選択します。



(カ) 出力ファイル名を選択します。

読み取りリモート登録 (混在帳票)

帳票選択... OCR

ファイル選択... C:¥Wr_hand¥Template¥

ファイル削除 cr090.tpl

入力
イメージ入力 ファイル スキャナ 200

イメージ取込先... C:¥Program Files¥FFax¥

認識保存先... C:

訂正
出力
TEXT出力 しない CSV DDE EXCEL

イメージ出力 しない する 帳票単位 フィールド単位

ファイル名... C:¥edi¥pg¥pgtmp¥csv¥OCR.csv

認識結果出力ファイルの選択

ファイルの場所(D): csv

ファイル名(N): OCR

ファイルの種類(T): CSVファイル(*.csv)

開く(O)

キャンセル

cr030 に対しても出力ファイル名を設定する。

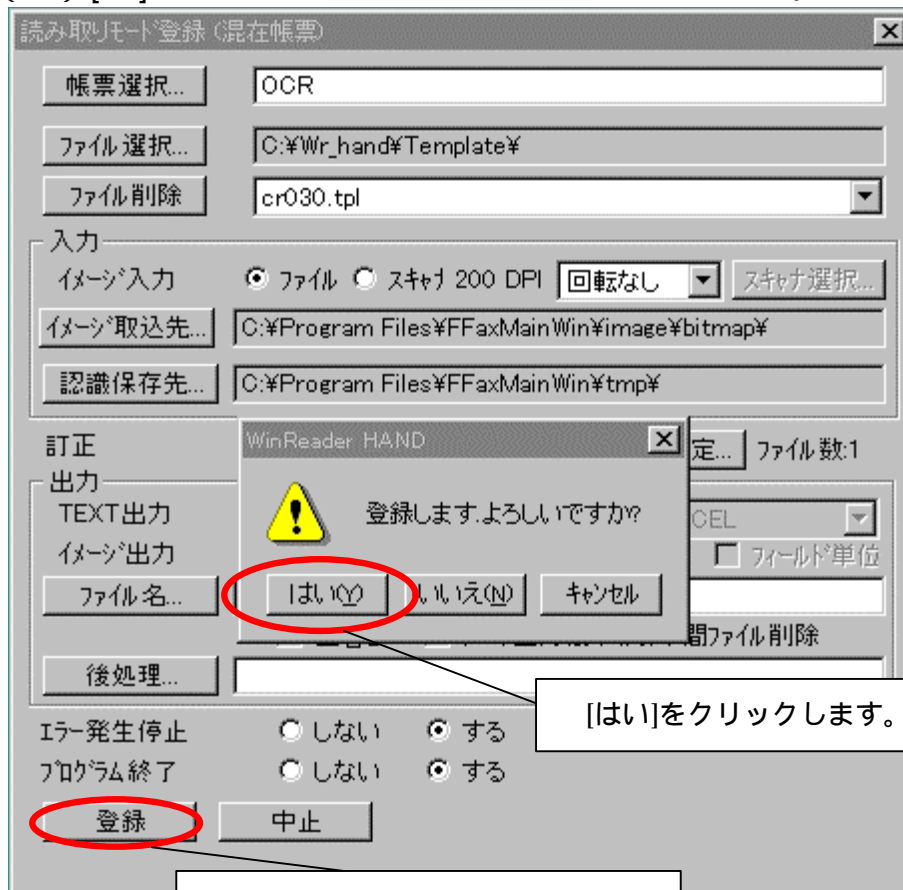
[ファイル名]ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログボックスを表示します。

FAX 受発注機能をインストールしたディレクトリの下での pgtmp¥csv ディレクトリを選択後、[ファイル名]テキストボックスに"OCR"と入力して[開く]ボタンをクリックします。

<注意>

[ファイル削除]ボタンの右側にあるコンボボックスにて「cr030.tpl」を選択し、テンプレートファイル「cr030.tpl」に対しても、出力ファイル名を設定してください。

(キ) [OK]ボタンをクリックして設定内容を登録します。



<補足>

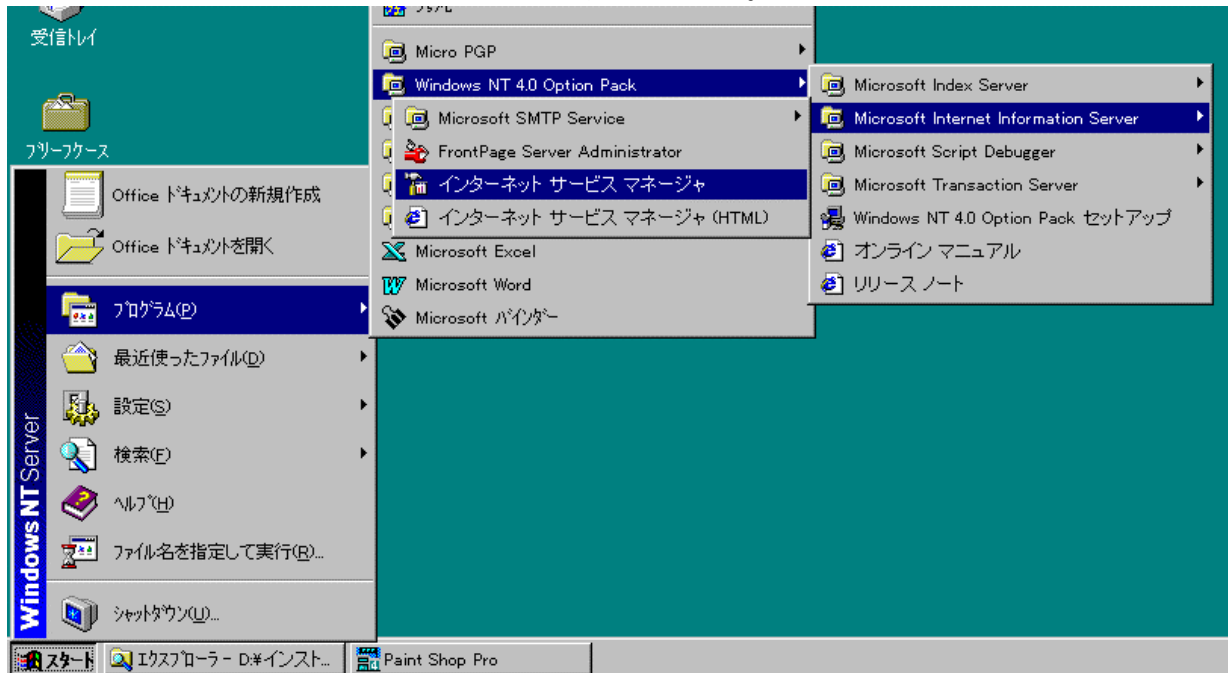
“すでに登録済みです。上書き登録しますか？”と確認メッセージが表示された場合は、[はい]ボタンをクリックして上書き登録してください。

<補足>

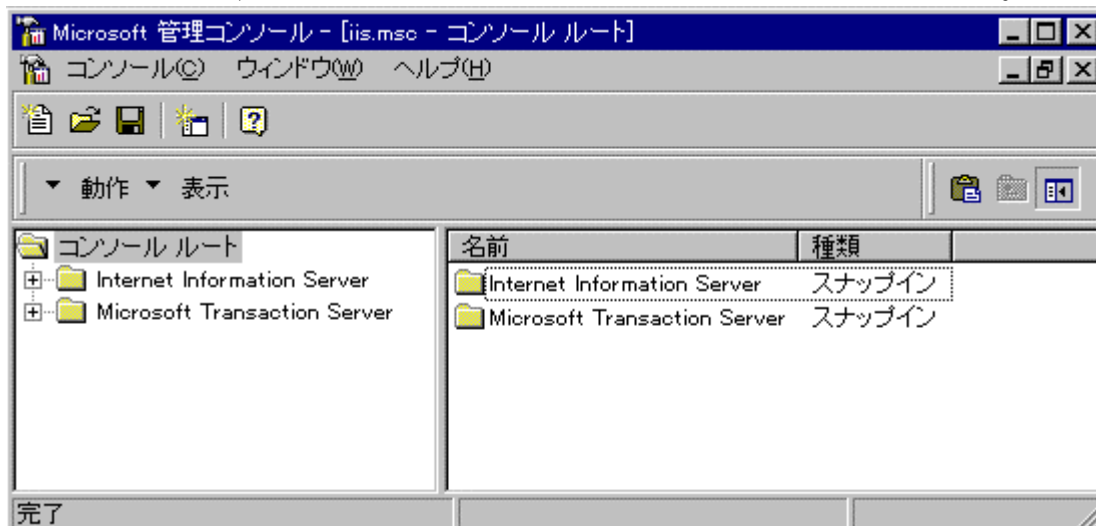
登録後は、「読み取りモード登録」画面を閉じ、動作環境を設定を終了します。

(D) Microsoft Internet Information Server の環境を設定します。

(a) Microsoft Internet Information Server の環境を設定する為にインターネットサービスマネージャを起動します。



以下が、インターネットサービスマネージャの初期画面です。



<補足>

本作業は、FAX サーバ管理機能を実現する為の設定です。

(b) 管理画面用の仮想ディレクトリを新規作成します。

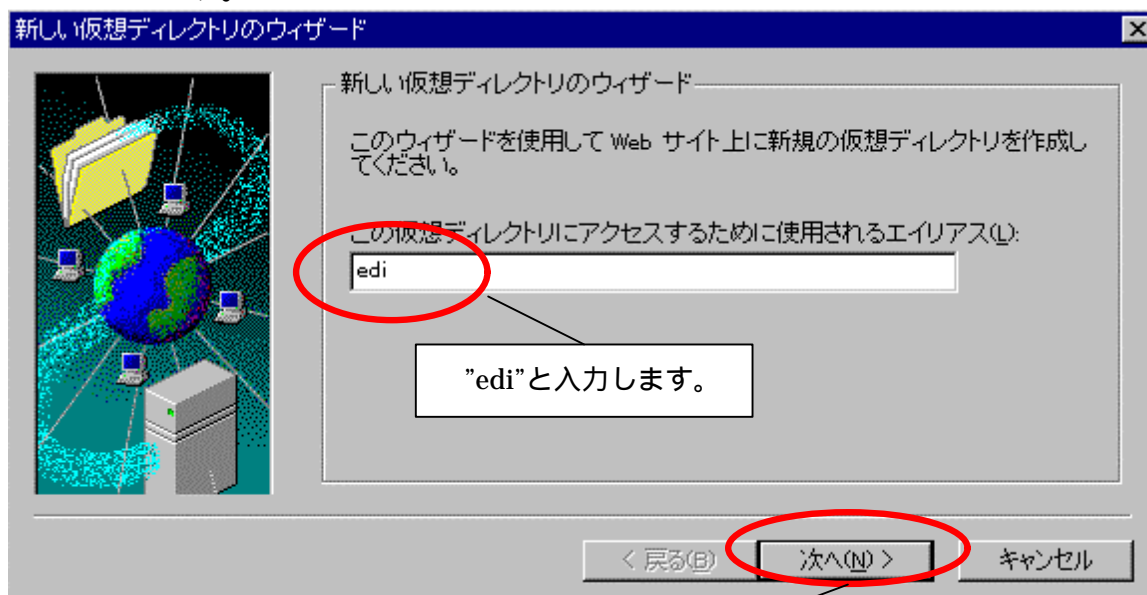
(ア) ツリー構造から「コンソールルート」「Internet Information Server」「FAX サーバのマシン名」「既定の Web サイト」を選択し、仮想ディレクトリを新規作成します。



<補足>

仮想ディレクトリは、「既定の Web サイト」を選択し、右クリックにて表示されるリストから、「新規作成」「仮想ディレクトリ」をクリックして作成してください。

(イ) 仮想ディレクトリにアクセスするために使用されるエイリアスを設定します。



[次へ]ボタンをクリックします。

(ウ) FAX サーバ管理画面用の HTML ファイル等が保存されているディレクトリの物理パスを設定します。

新しい仮想ディレクトリのウィザード

新しい仮想ディレクトリのウィザード

発行する内容を含むディレクトリ (E):

[参照]ボタンをクリックし、フォルダ選択ダイアログボックスを表示します。

参照(R)...

フォルダの参照

ディレクトリを選択してください

- FFaxMainWin
 - error
 - image
 - information
 - log
 - makerinfo
 - pgtmp
 - program
 - telephony
 - tmp
 - www
 - HideMy...

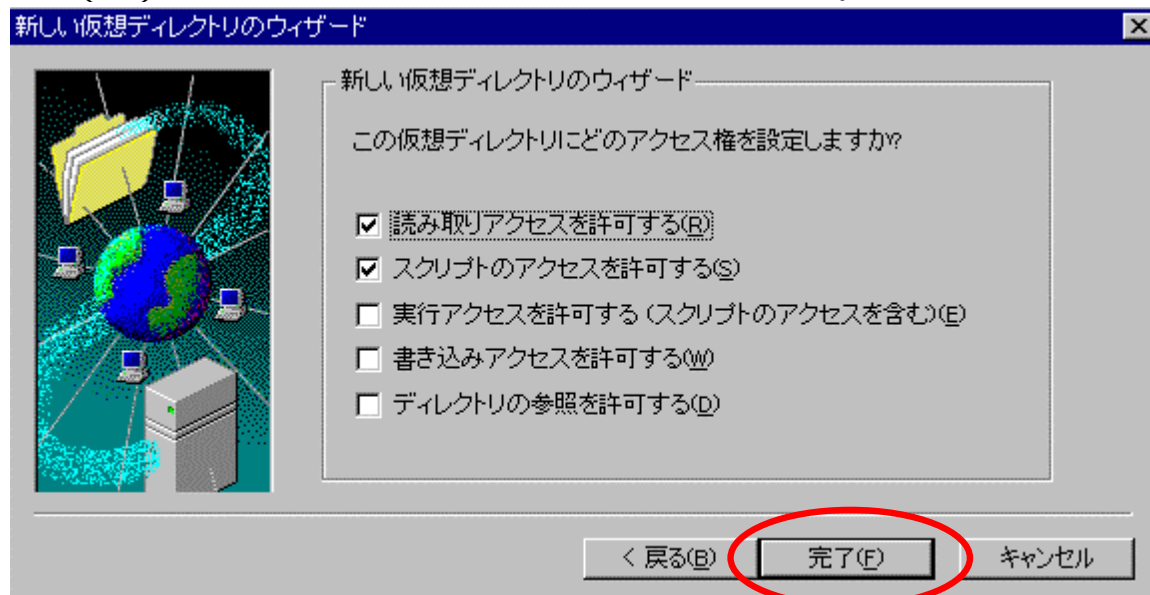
FAX 受発注機能をインストールしたディレクトリ下の www ディレクトリを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

OK キャンセル

<補足>

設定後は[次へ]ボタンをクリックして、設定を進めてください。

(エ) 仮想ディレクトリのアクセス権を設定します。



アクセス権を設定後、[完了]ボタンをクリックします。

(c) 照会イメージファイル用の仮想ディレクトリを新規作成します。

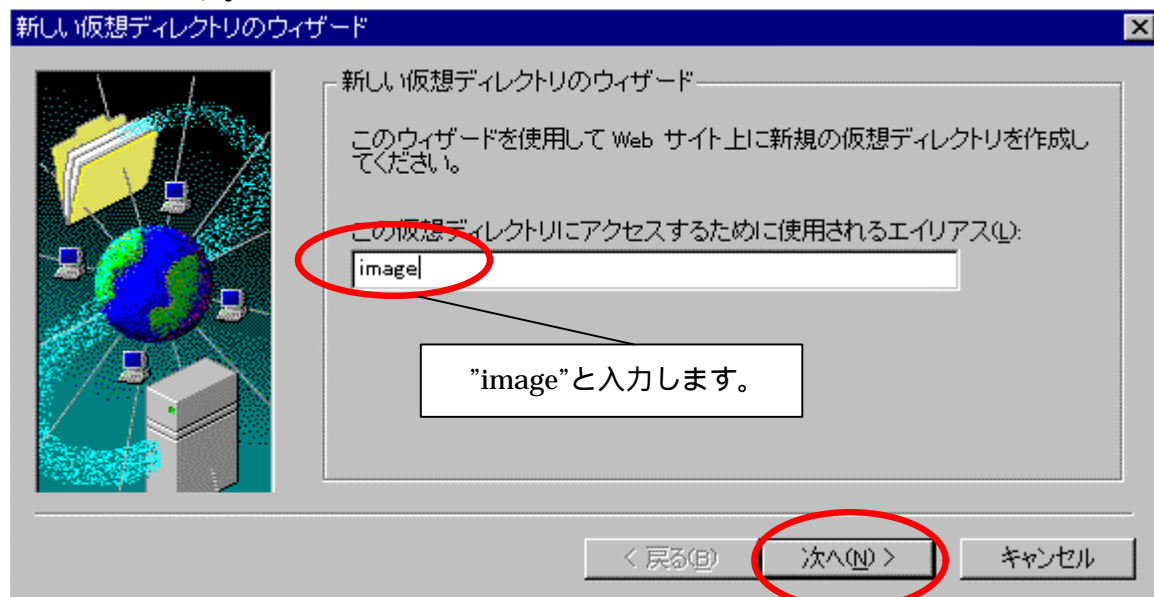
(ア) ツリー構造から「コンソールルート」「Internet Information Server」「FAX サーバのマシン名」「既定の Web サイト」を選択し、仮想ディレクトリを新規作成します。



<補足>

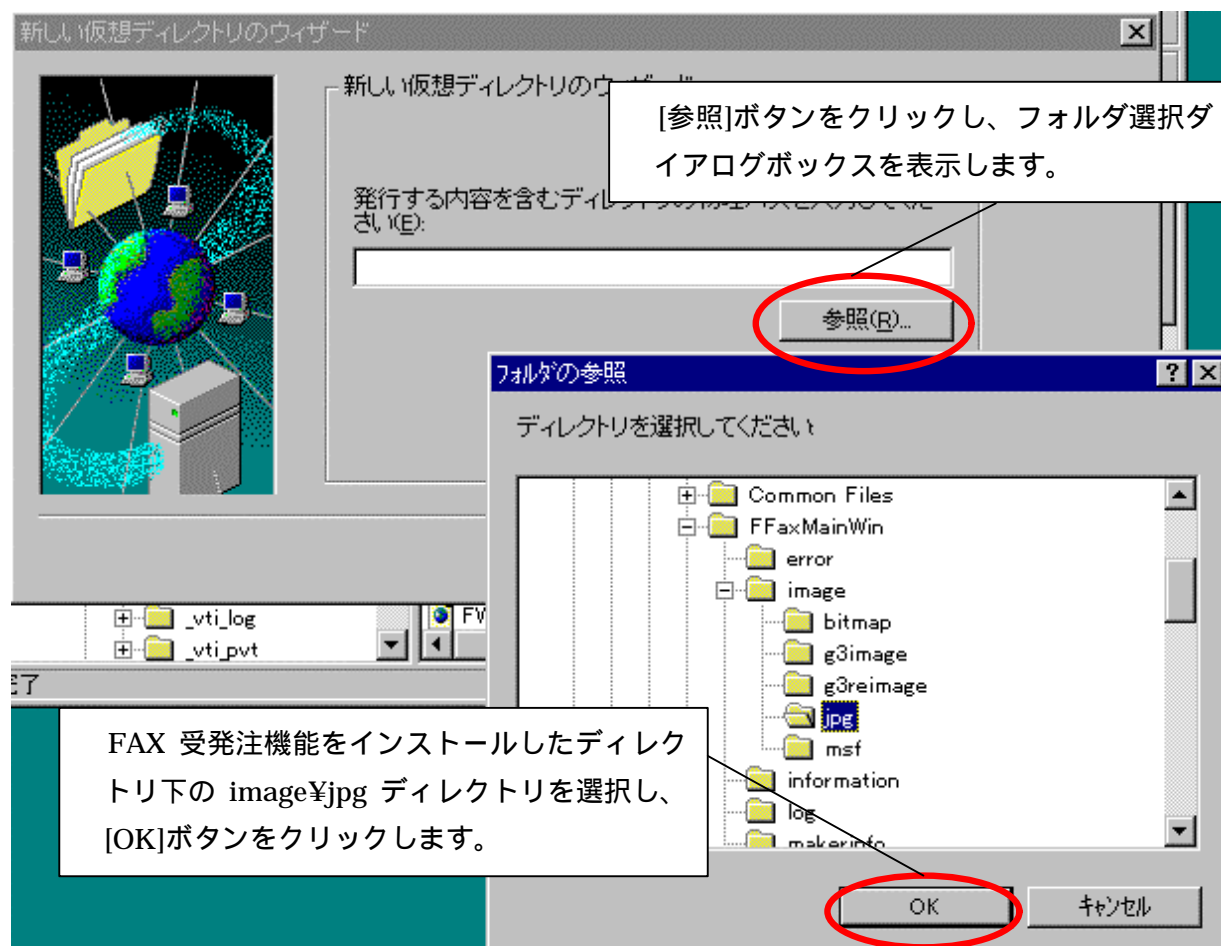
仮想ディレクトリは、「既定の Web サイト」を選択し、右クリックにて表示されるリストから、「新規作成」「仮想ディレクトリ」をクリックして作成してください。

(イ) 仮想ディレクトリにアクセスするために使用されるエイリアスを設定します。

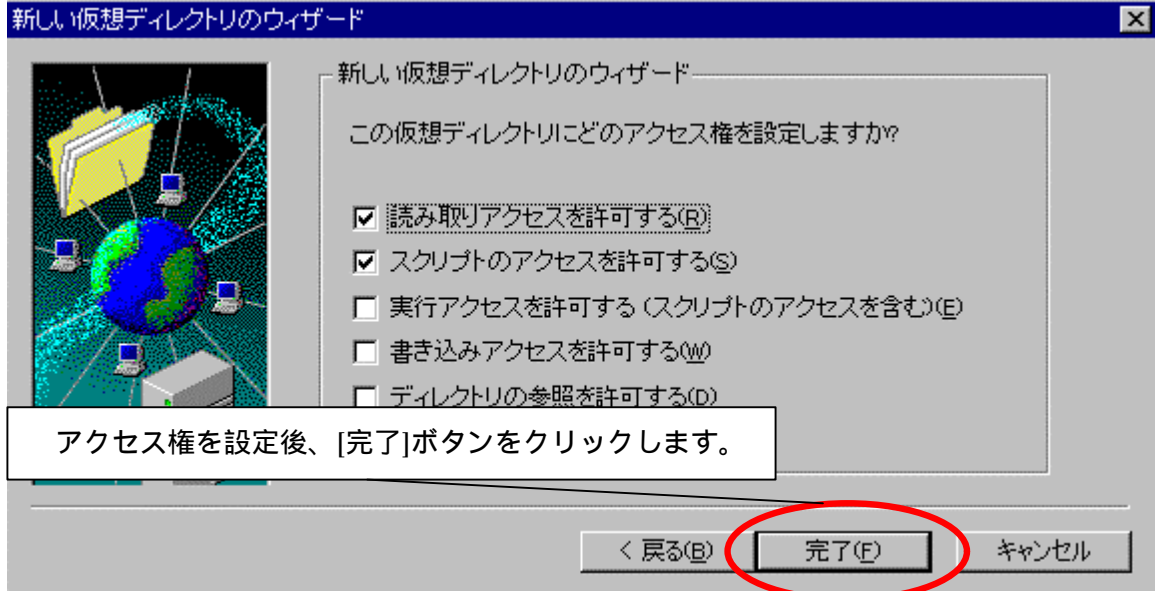


[次へ]ボタンをクリックします。

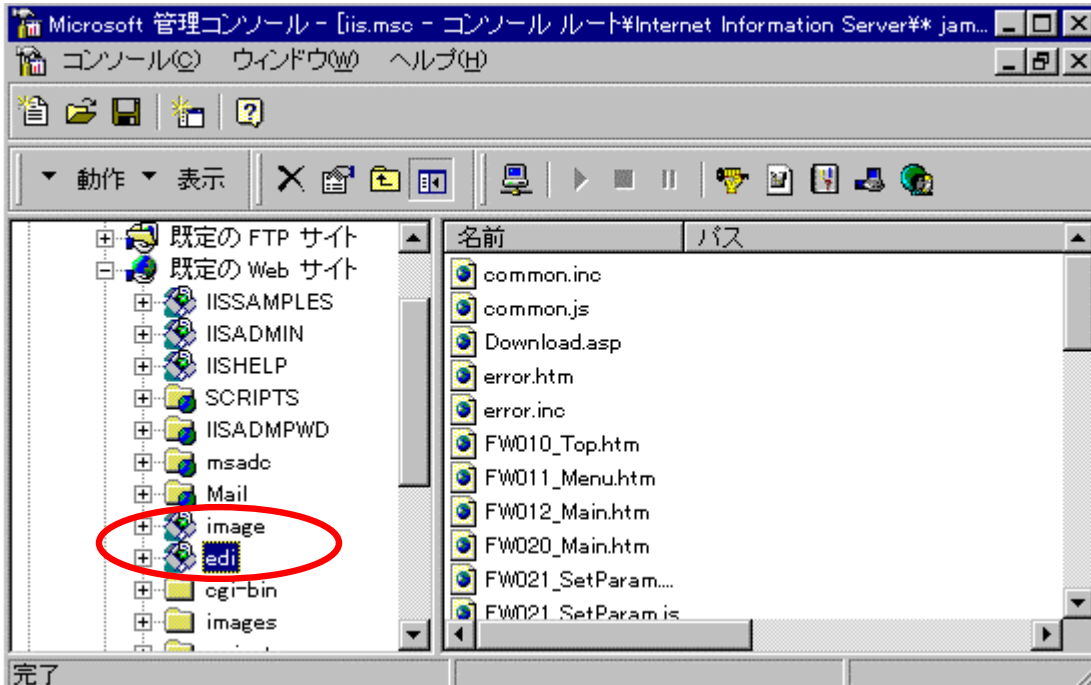
(ウ) 照会用イメージファイル(JPG ファイル)の保管先ディレクトリの物理パスを設定します。



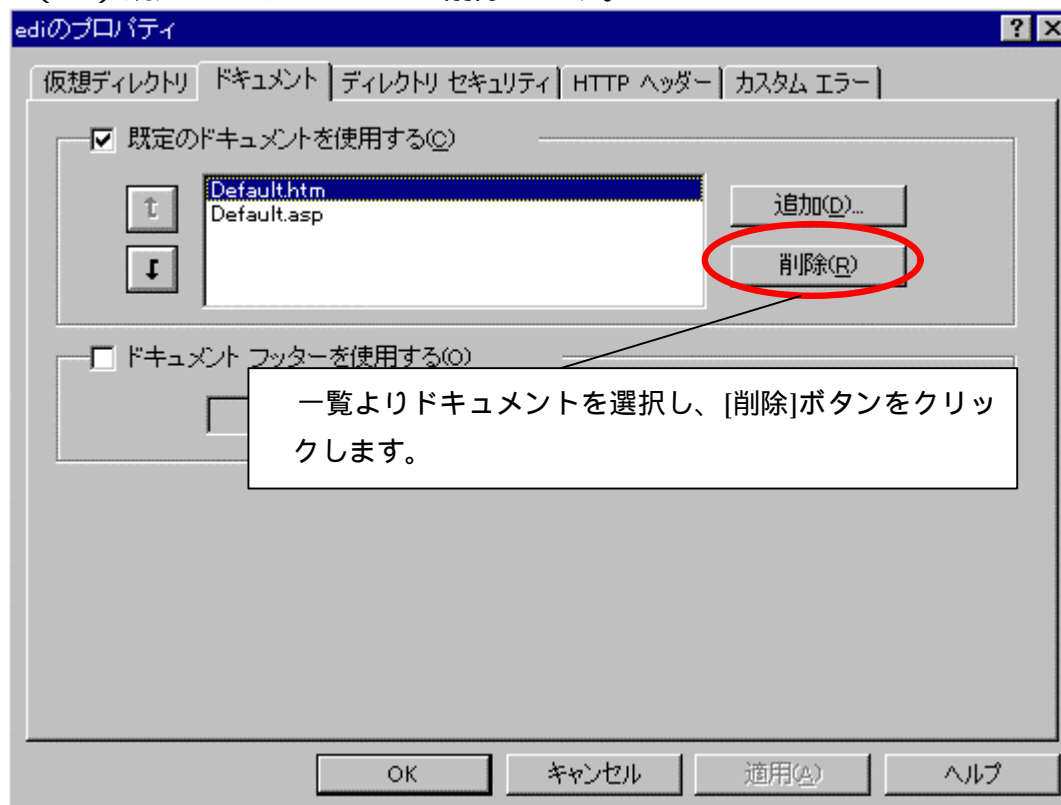
(エ) 仮想ディレクトリのアクセス権を設定します。



(オ) 仮想ディレクトリが作成された事を確認します。



- (d) FAX サーバ管理画面の開始ページとして「FW010_Top.htm」を設定します。
(ア) 既定のドキュメントを削除します。



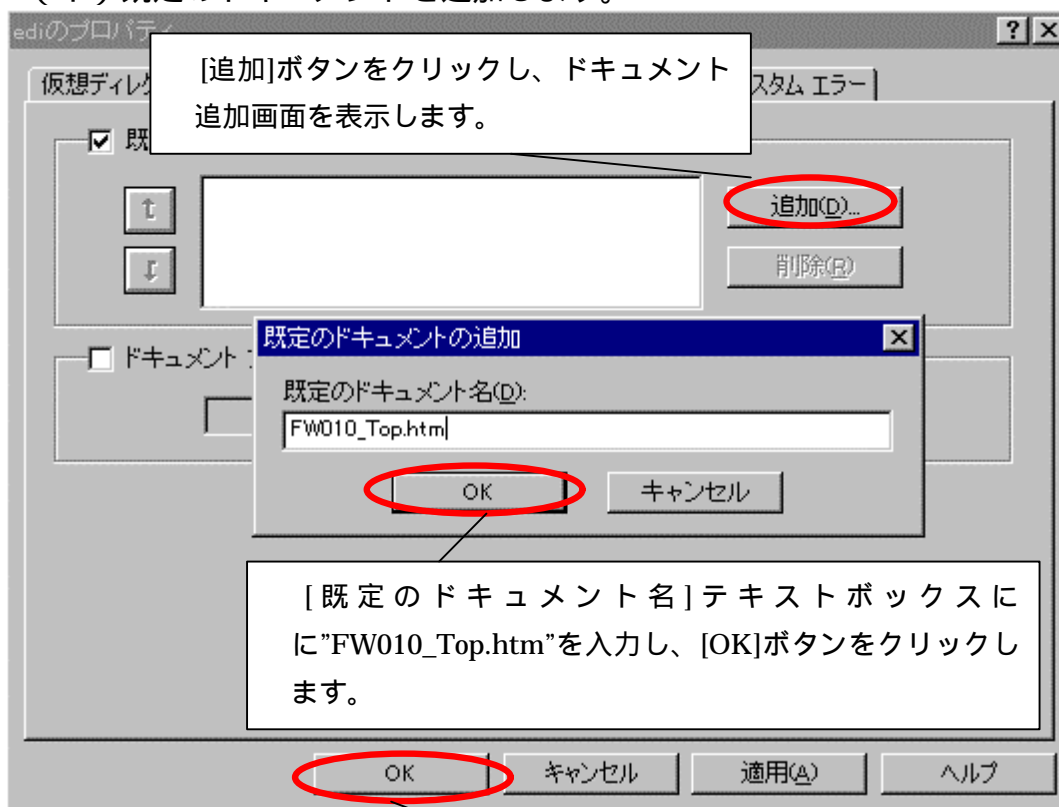
<補足>

全てのドキュメントを削除してください。

<補足>

プロパティは、仮想ディレクトリ"edi"を選択し、右クリックにて表示されるリスト上のプロパティをクリックして表示してください。

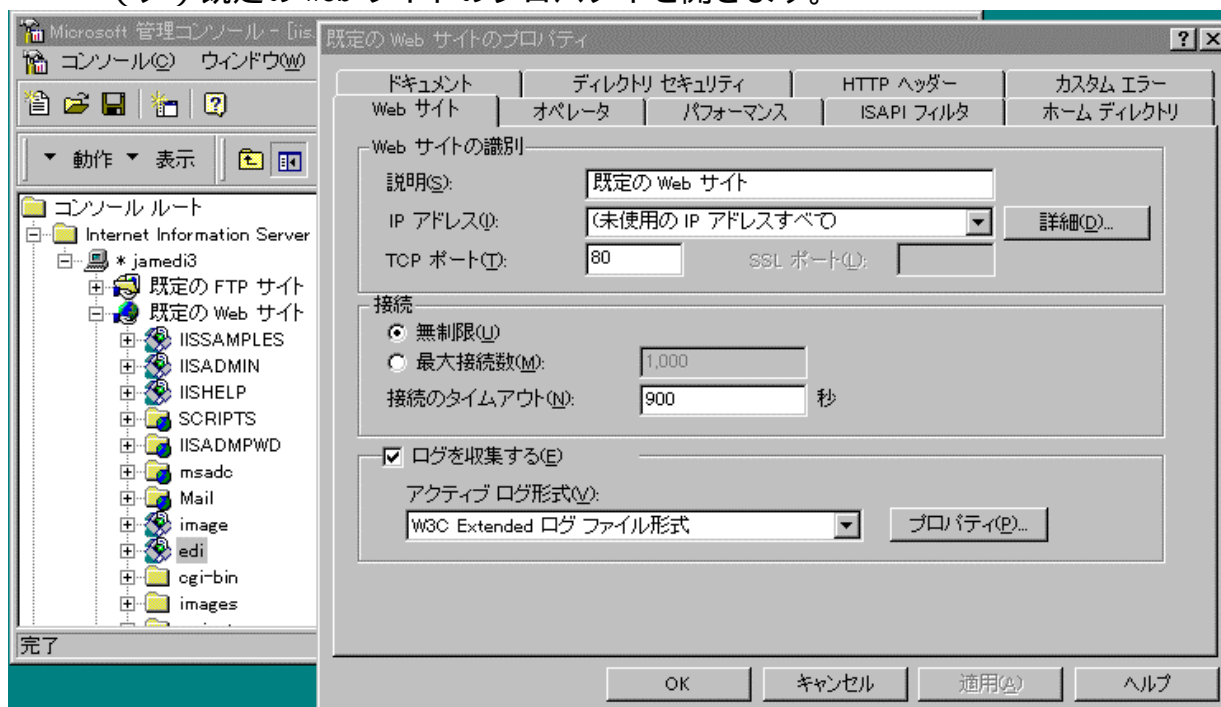
(イ) 既定のドキュメントを追加します。



[OK]ボタンをクリックし、仮想ディレクトリのプロパティを終了します。

(e) ログ出力内容を設定します。

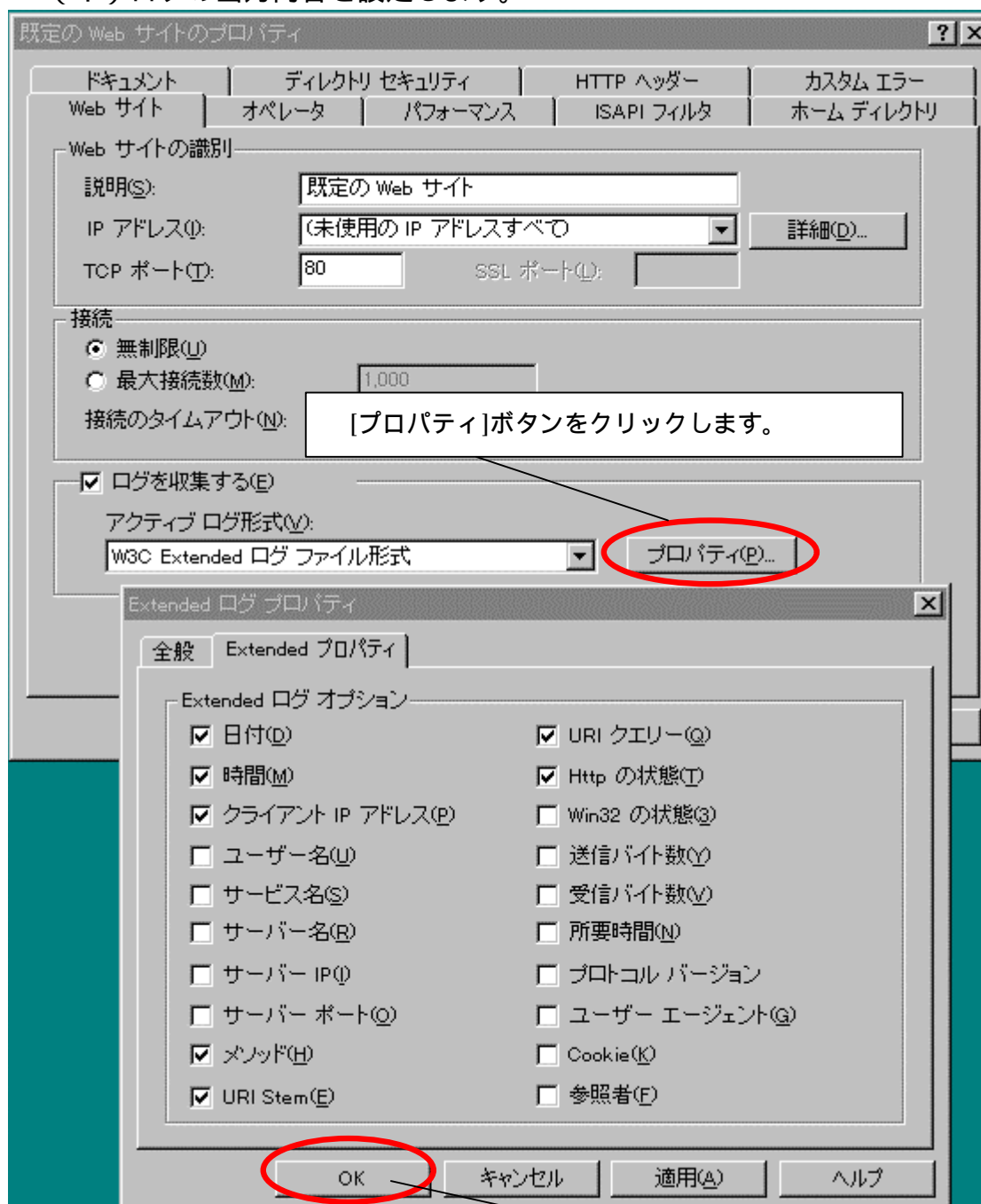
(ア) 既定の Web サイトのプロパティを開きます。



<補足>

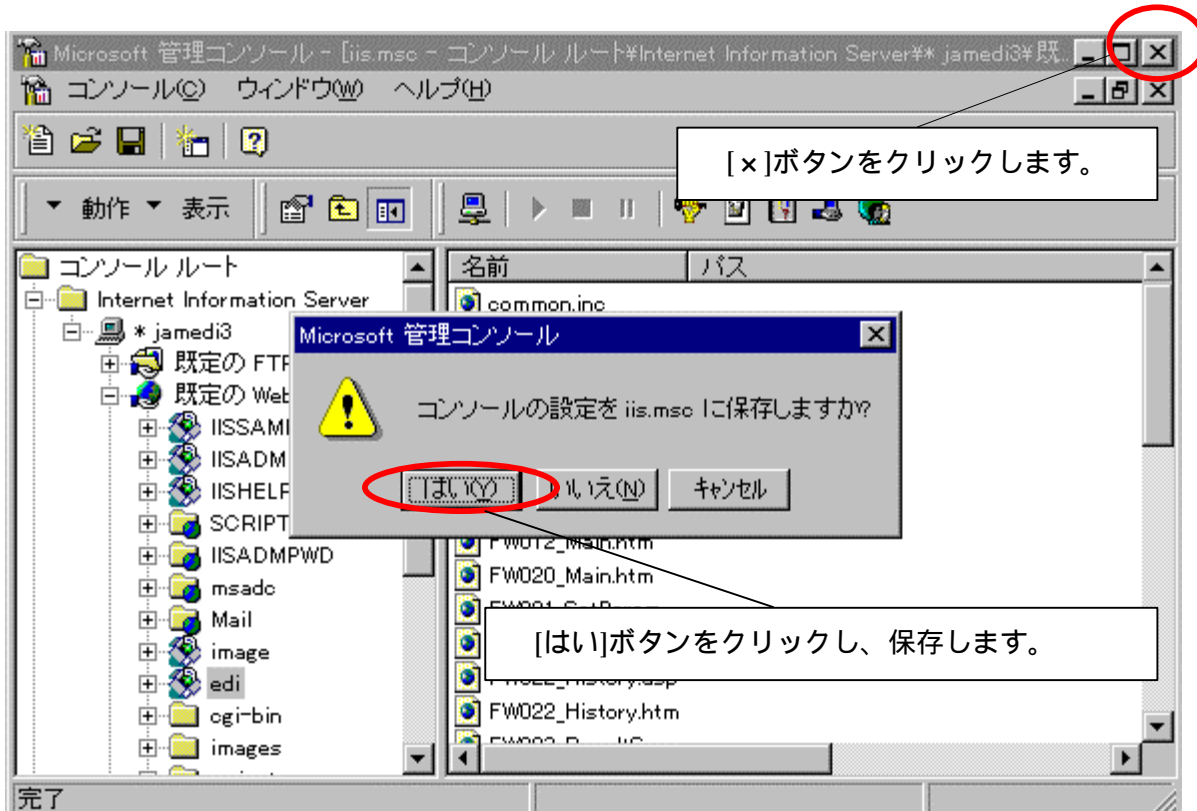
プロパティは、「既定の Web サイト」を選択し、右クリックにて表示されるリスト上のプロパティをクリックして表示してください。

(イ) ログの出力内容を設定します。



上記項目をチェックして、[OK]ボタンをクリックします。

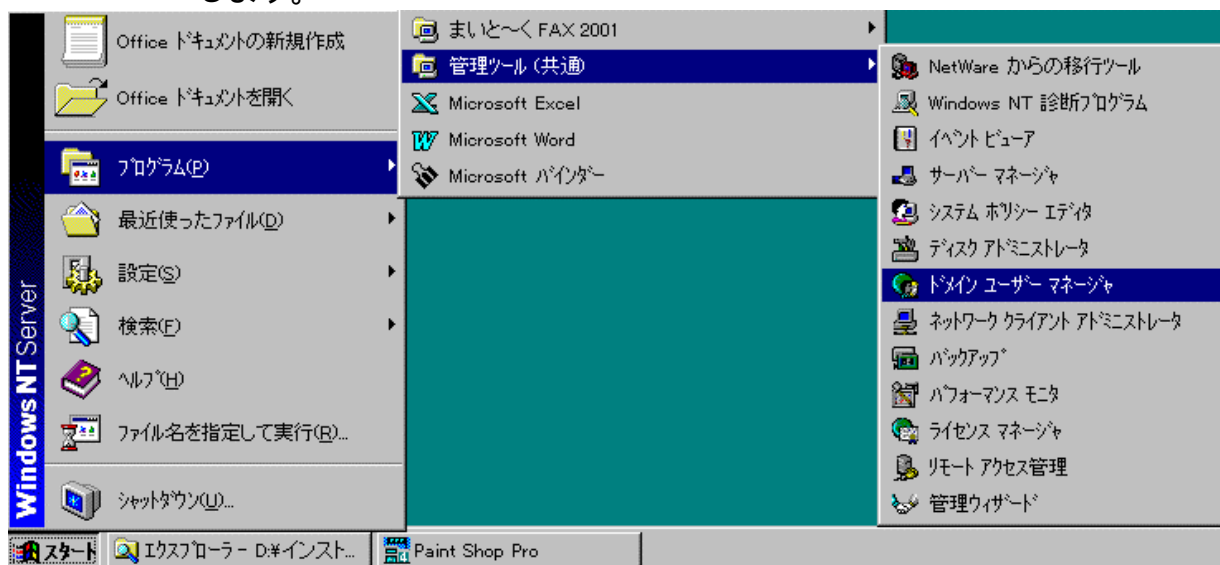
(f) 設定内容を保存し、インターネットサービスマネージャを終了します。



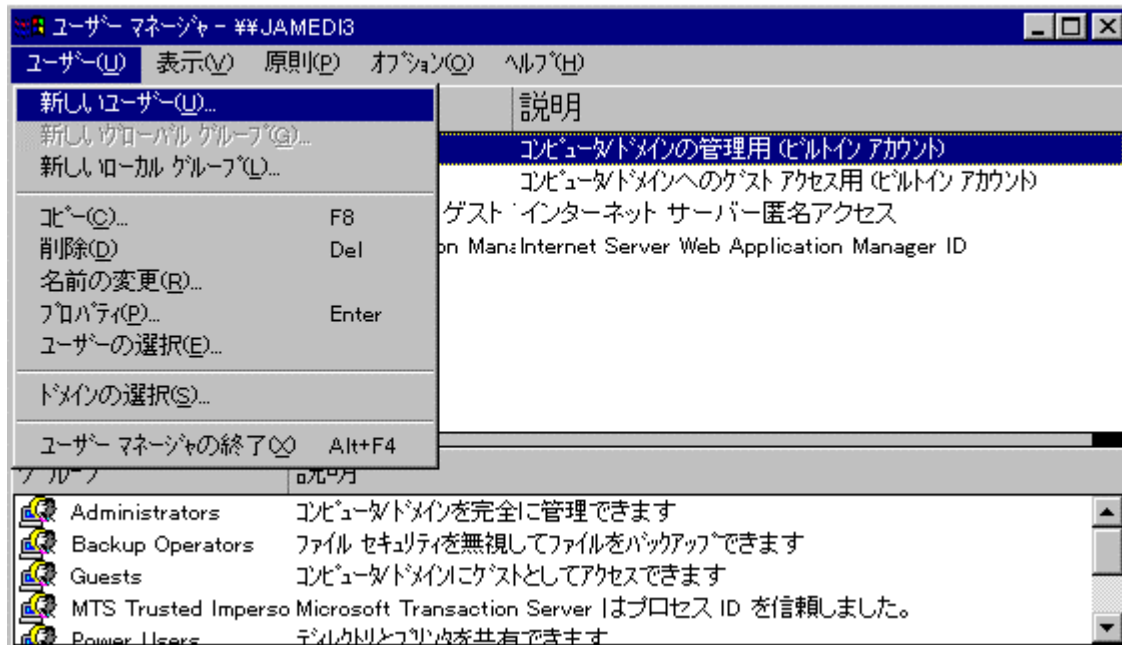
(E) FAX サーバ管理者用ユーザを追加、および、アクセス権を設定します。

(a) FAX サーバ管理者用ユーザを追加します。

(ア) スタートメニューより、「プログラム」 「管理ツール (共通)」 「ドメインユーザマネージャ」を実行して、「ユーザマネージャ」画面を表示します。



(イ) メニューより、「ユーザ」「新しいユーザ」を実行して、ユーザを追加します。

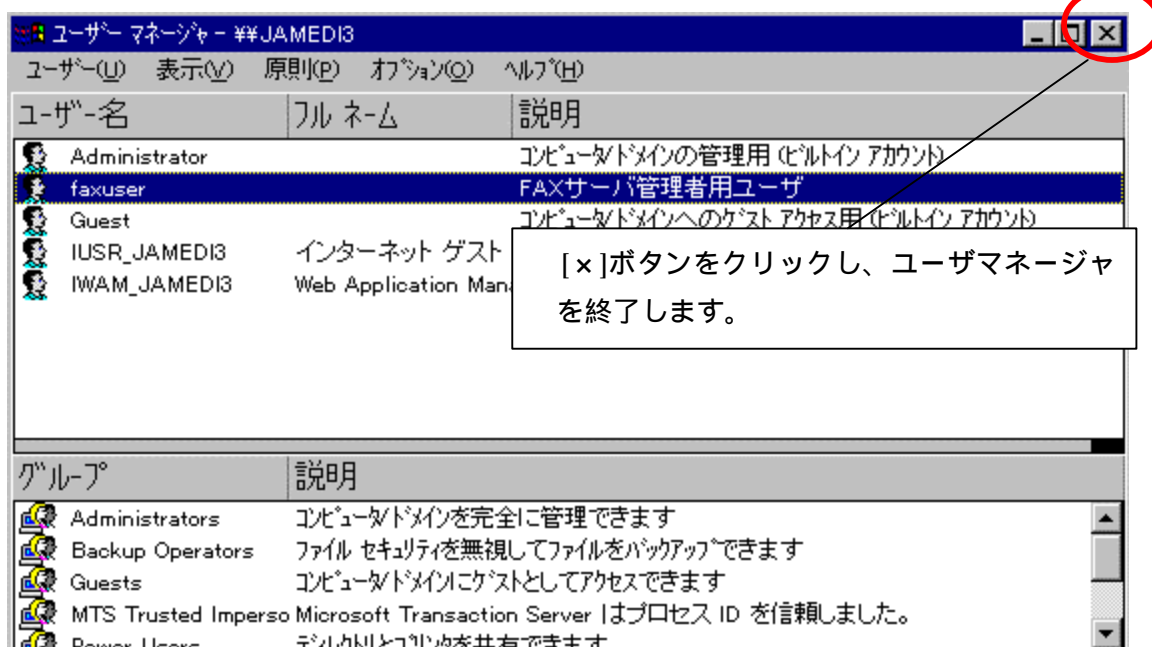


(ウ) FAX サーバ管理者用ユーザの情報を入力し、追加します。

<補足>

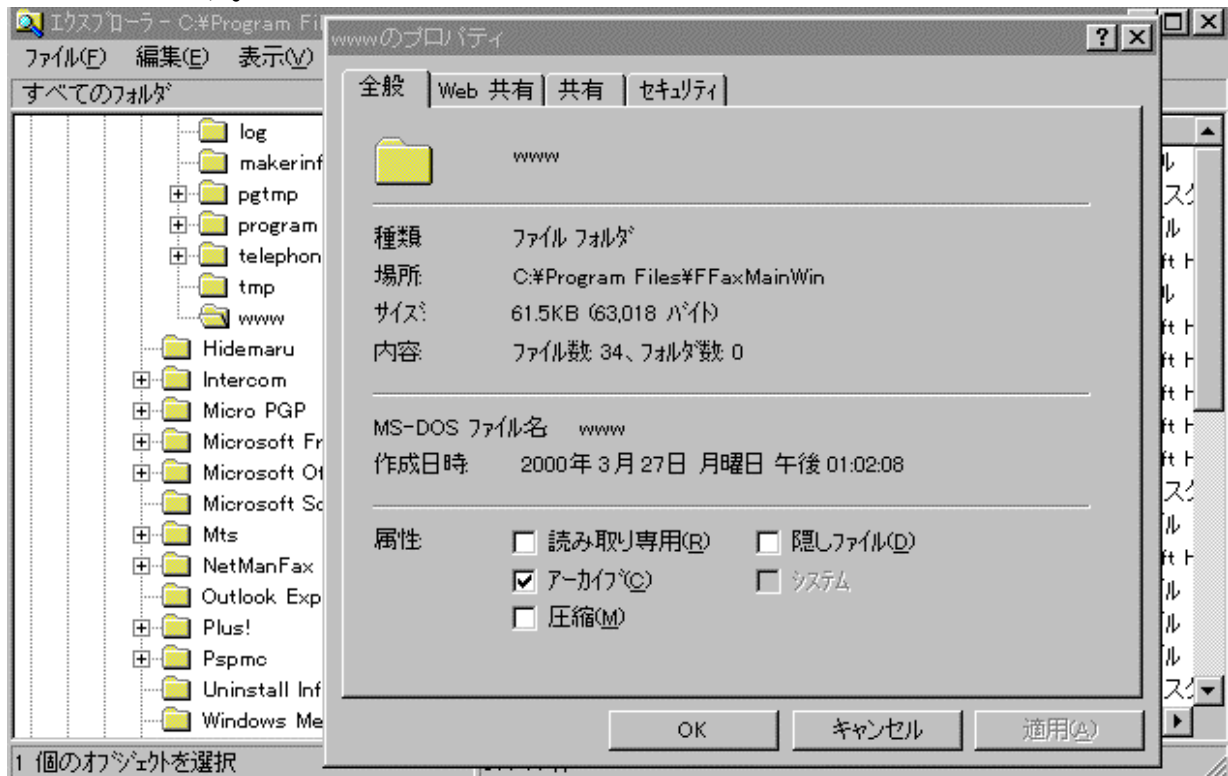
ここで設定したユーザ名とパスワードは、FAX サーバ管理画面を起動する際に必要となります。

(エ) 一覧にFAXサーバ管理者用ユーザが追加されている事を確認後に、「ユーザマネージャ」画面を終了します。



(b) FAX サーバ管理画面用の HTML ファイル等が保存されているディレクトリに、FAX サーバ管理者用ユーザのアクセス権を設定します。

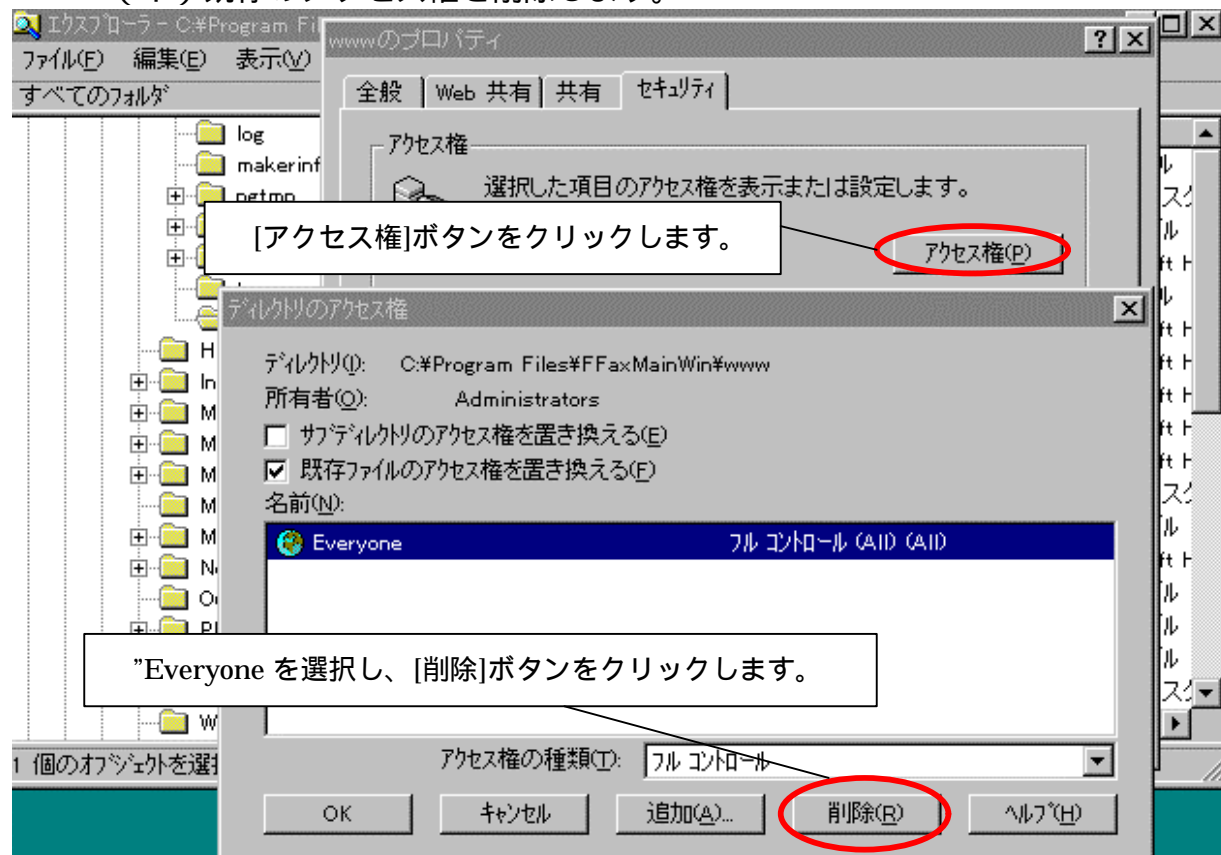
(ア) HTML ファイル等が保存されているディレクトリのプロパティを開きます。



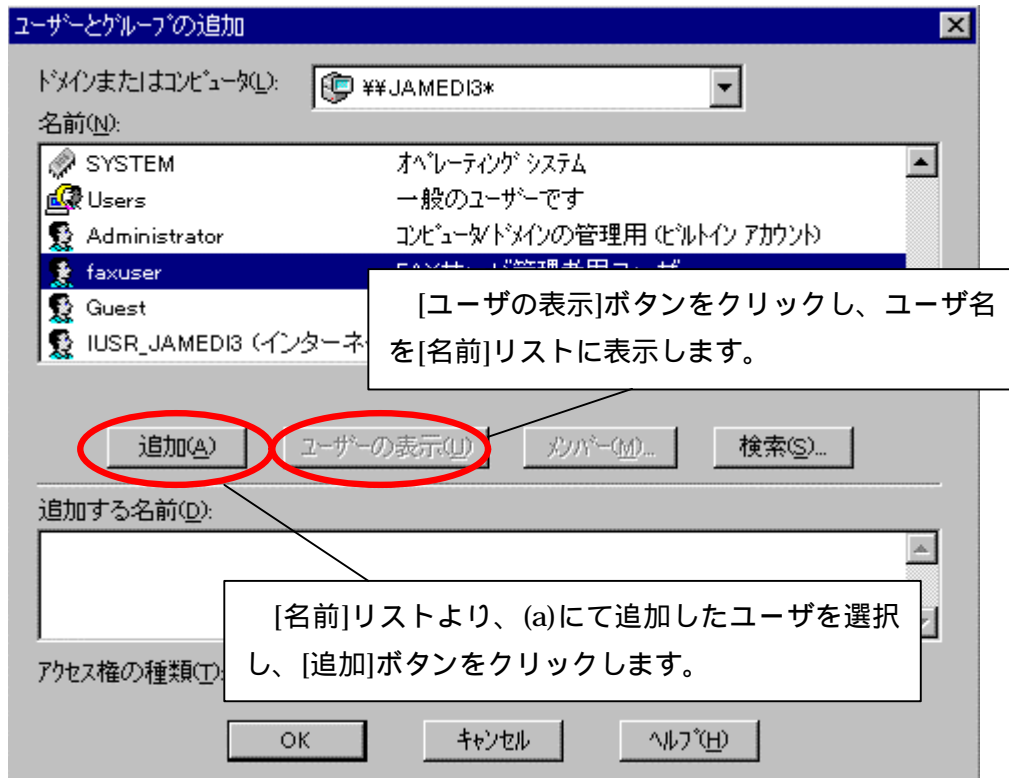
<補足>

プロパティは、FAX 受発注機能をインストールしたディレクトリ下の www ディレクトリを選択し、右クリックにて表示されるリスト上のプロパティをクリックして表示してください。

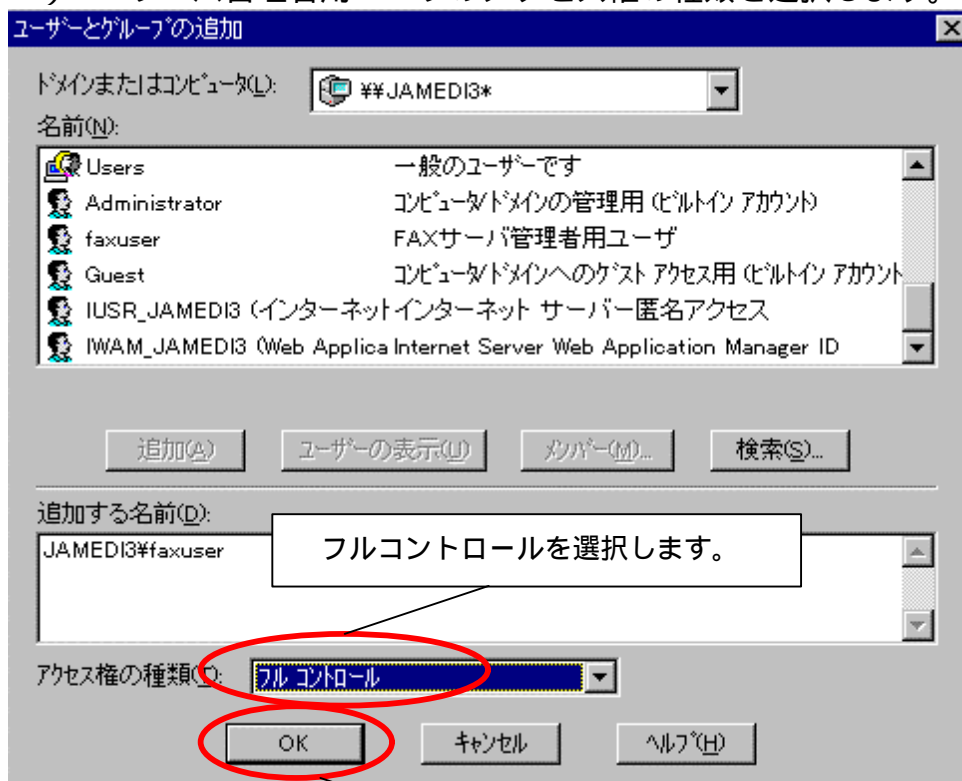
(イ) 既存のアクセス権を削除します。



(ウ) FAX サーバ管理者用ユーザをアクセス可能とします。



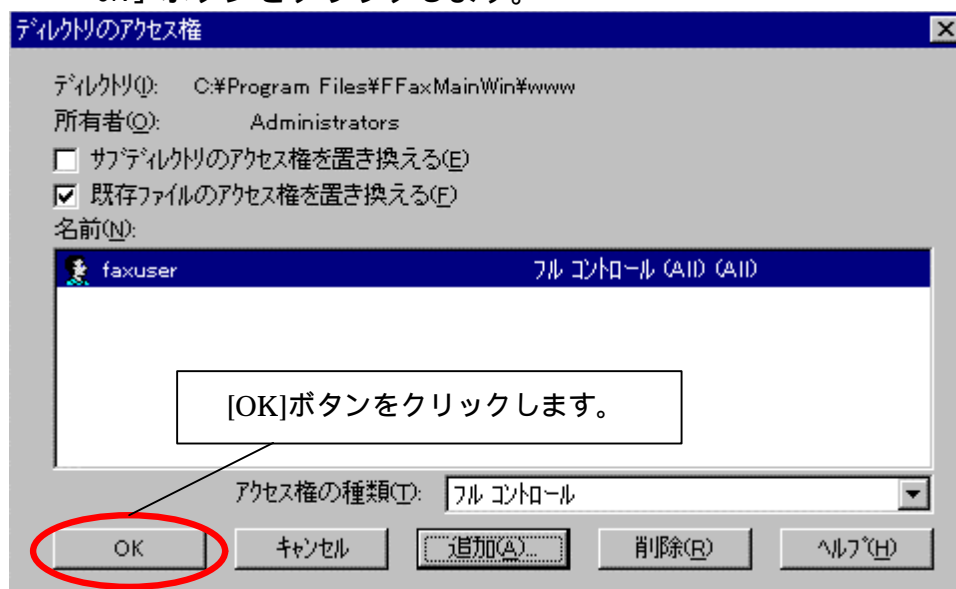
(エ) FAX サーバ管理者用ユーザのアクセス権の種類を選択します。



<補足>

[追加する名前]リストには、「FAX サーバ名%%(a)にて追加したユーザ名」が表示されます。

(オ) 名前欄に FAX サーバ管理者用ユーザ名が表示されている事を確認後、「OK」ボタンをクリックします。



<補足>

(ア) ~ (オ) を繰り返し、Administrator ユーザもアクセス可能にしてください。